

住民満足度調査結果について

令和7年9月
会津坂下町 政策財務課

目次

1. 住民満足度調査の概要	1
2. 設問の構成	2
3. アンケート調査結果	
問1 回答者の属性について	3
問2 「会津坂下町まちづくり基本条例」の認知度について	4
問3 「第六次会津坂下町振興計画」の認知度について	4
問4 会津坂下町の行政サービスについて	5
問5 会津坂下町の住みやすさについて	6
問6 会津坂下町に対する愛着について	7
問7 会津坂下町への今後の定住意向について	8
問8－1 まちづくりの取り組みに対するこれまでの満足度（割合）	9
問8－2 まちづくりの取り組みに対するこれからの重要度（割合）	14
4. 前回調査結果との比較（問2～問8－1・2）	19
5. 町の将来について（自由記述）	30

1. 住民満足度調査の概要

(1) 目的

第六次会津坂下町振興計画の施策ごとの満足度及び重要度を調査・分析しその結果を実施計画に反映させることを目的としています。

なお、本調査は、振興計画の計画期間である令和11年度まで毎年実施いたします。

(2) 調査対象

令和7年4月1日時点で満18歳以上の町内在住の町民

(3) 抽出方法

地区別、年代別、性別に偏りが無いよう、無作為抽出した1,300名

(4) 調査期間

令和7年5月8日（木）～5月23日（金）

(5) 調査方法

郵送による調査票の発送・回収及びWeb回答

(6) 回答件数

397件（回答率30.5%）

2. 設問の構成

今回の調査は、住民の皆さんの生活の現状や町の将来像などについて調査をするため、全10問の質問により構成されています。

質問の最後に、町の将来についての夢やアイデアについて広くご意見をいただけるよう、自由記述欄を設けました。

設問内容について

〔問1〕 回答者の属性について

〔問2〕 「会津坂下町まちづくり基本条例」の認知度について

〔問3〕 「第六代会津坂下町振興計画」の認知度について

〔問4〕 会津坂下町の行政サービスについて

〔問5〕 会津坂下町の住みやすさについて

〔問6〕 会津坂下町に対する愛着について

〔問7〕 会津坂下町への今後の定住意向について

〔問8－1〕 まちづくりの取り組みに対するこれまでの満足度について

〔問8－2〕 まちづくりの取り組みに対するこれからの重要度について

町の将来について(自由記述)

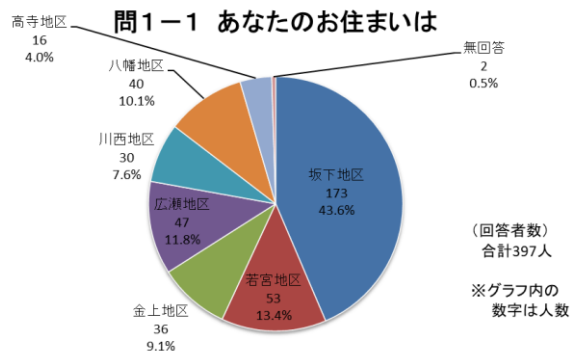
※調査結果を読むにあたって

調査結果の比率は、その設問の回答者数を母数として、小数点第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合があります。

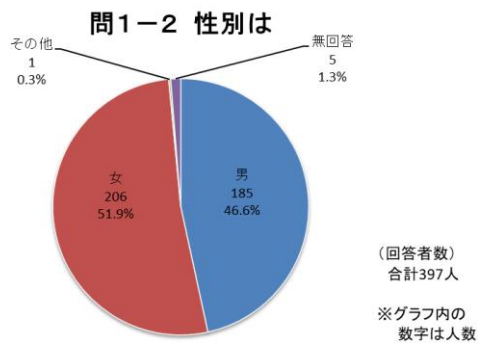
前回調査結果についても掲載し、今回調査結果との比較をしています。

3. アンケート調査結果

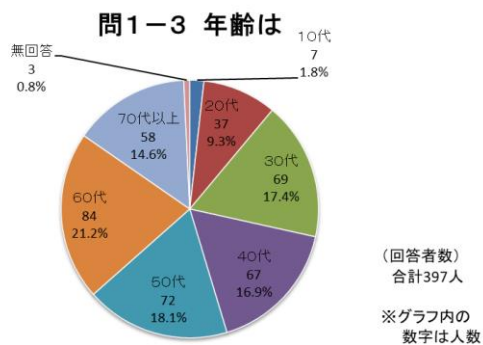
【問1】回答者の属性について



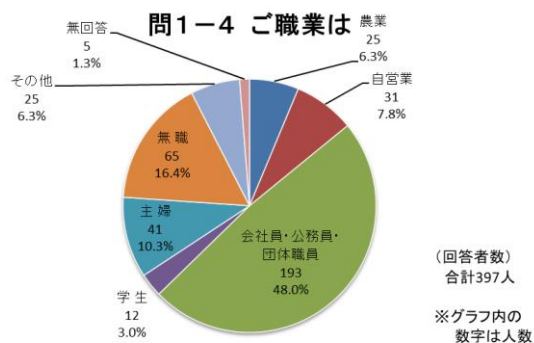
地区	人数
坂下地区	173人
若宮地区	53人
金上地区	36人
広瀬地区	47人
川西地区	30人
八幡地区	40人
高寺地区	16人
無回答	2人
合計	397人



性別	人数
男	185人
女	206人
その他	1人
無回答	5人
合計	397人



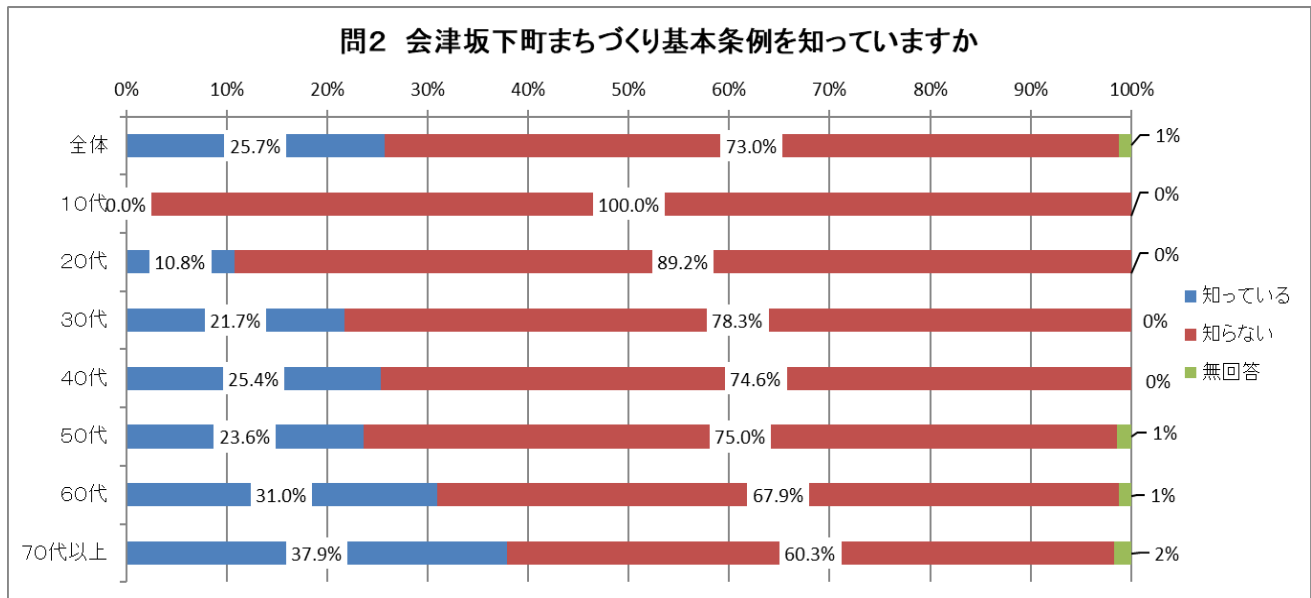
年齢	人数
10代	7人
20代	37人
30代	69人
40代	67人
50代	72人
60代	84人
70代以上	58人
無回答	3人
合計	397人



職業	人数
農業	25人
自営業	31人
会社員・公務員・団体職員	193人
学生	12人
主婦	41人
無職	65人
その他	25人
無回答	5人
合計	397人

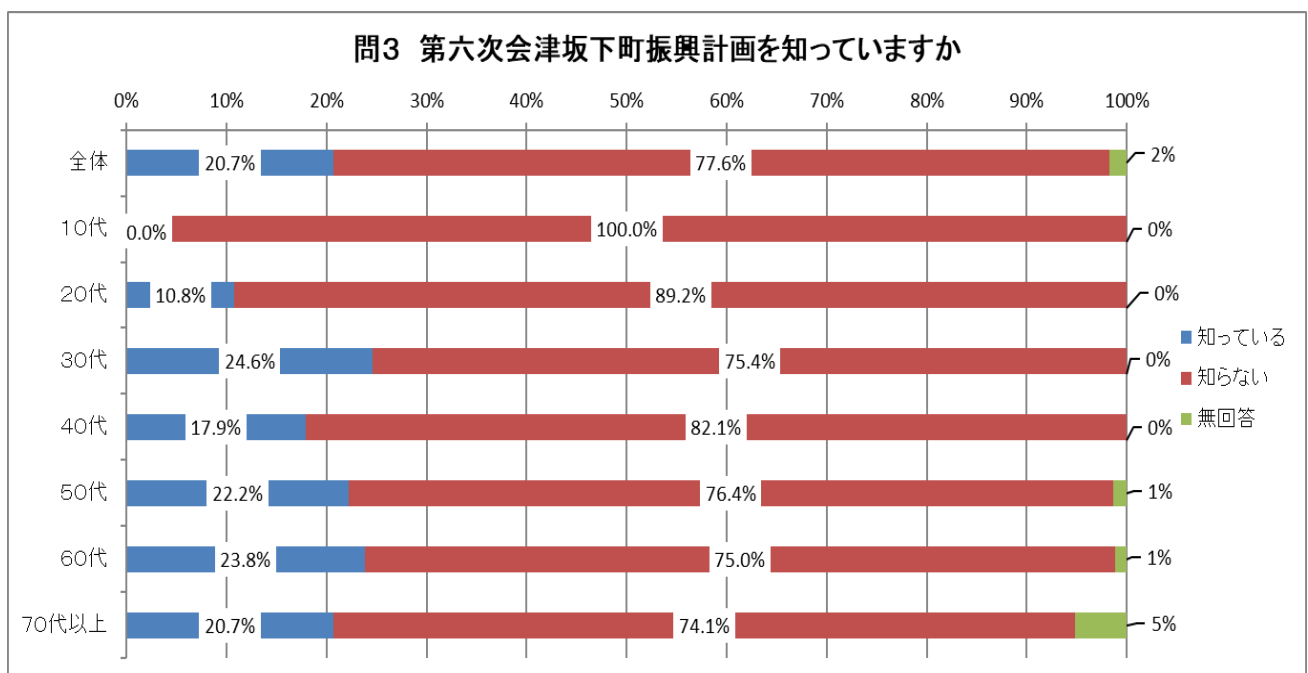
【問2】会津坂下町まちづくり基本条例の認知度について

- ・全体で「知っている」と回答した人の割合は30%以下という結果でした。年代が上がるにつれ、「知っている」と回答した人の割合が高い傾向にありました。



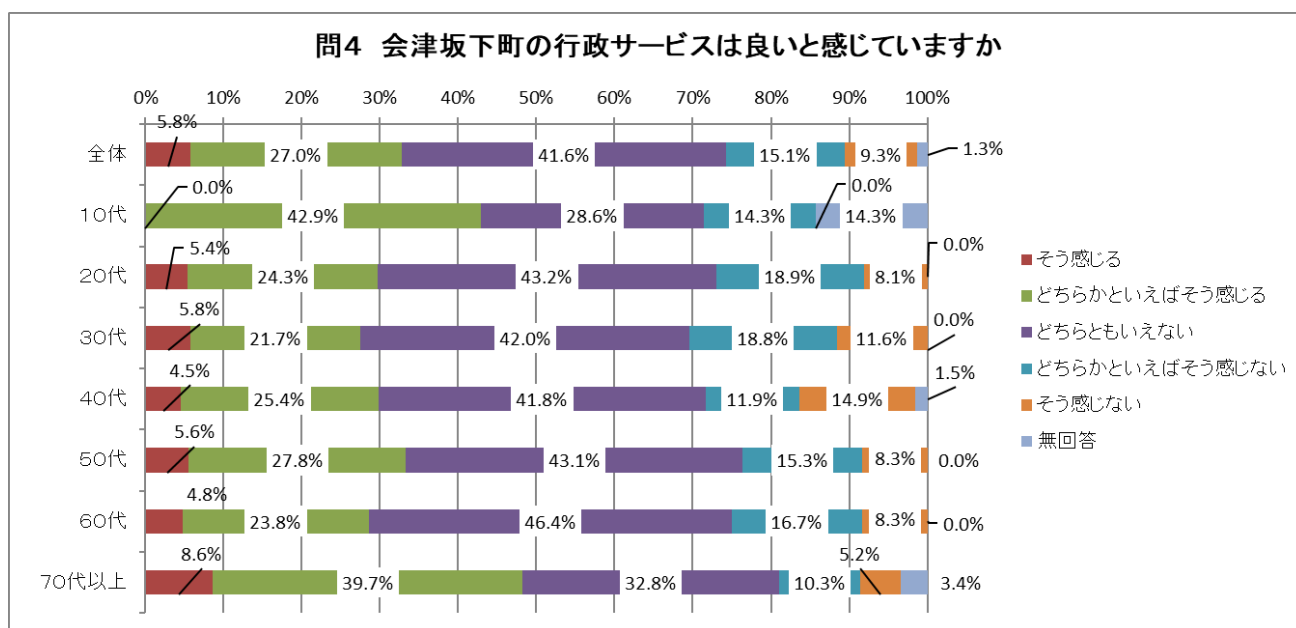
【問3】第六代会津坂下町振興計画の認知度について

- ・問2と同じく、全体で「知っている」と回答した割合は30%以下という結果でした。「知っている」と回答した人の割合が最も高かったのは30代でした。



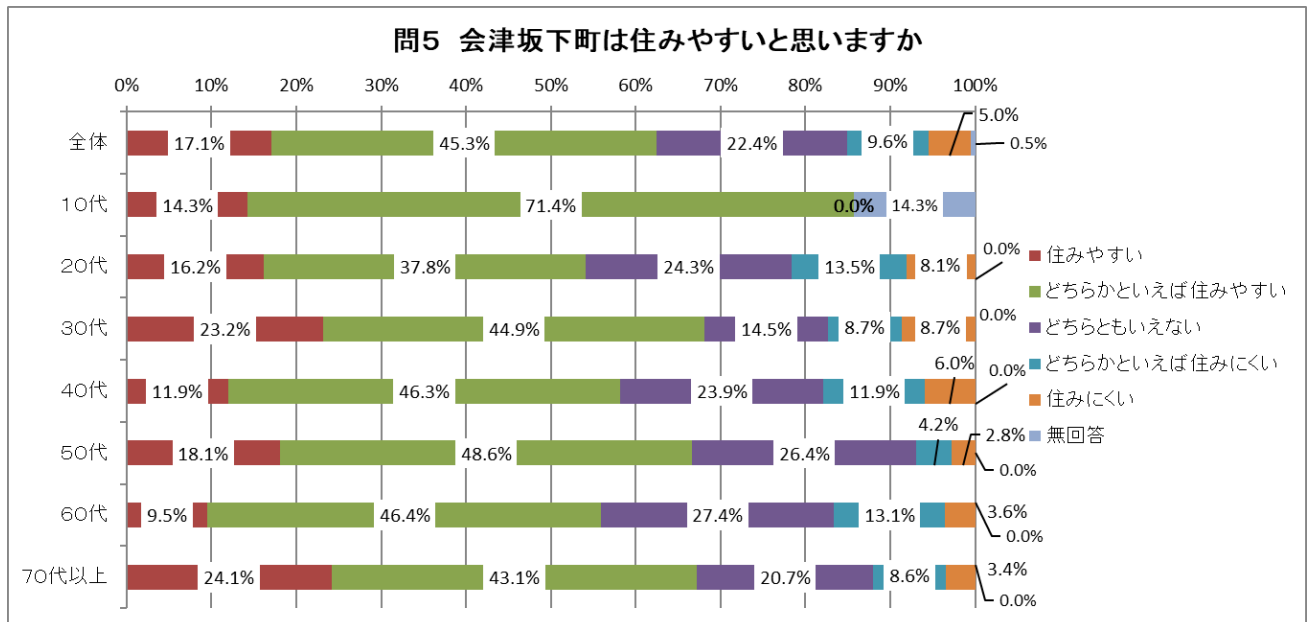
【問4】会津坂下町の行政サービスについて

- ・全体では「どちらともいえない」と回答した人の割合が最も高い結果となりました。
- ・全年代の中で「そう感じる」「どちらかといえばそう感じる」と回答した人の合計割合が最も高かったのは70代でした。
- ・10代で「そう感じる」と回答した人は0人でした。
- ・全体の割合では「そう感じない」「どちらかといえばそう感じる」と回答した人の割合の方が高い結果となりました。



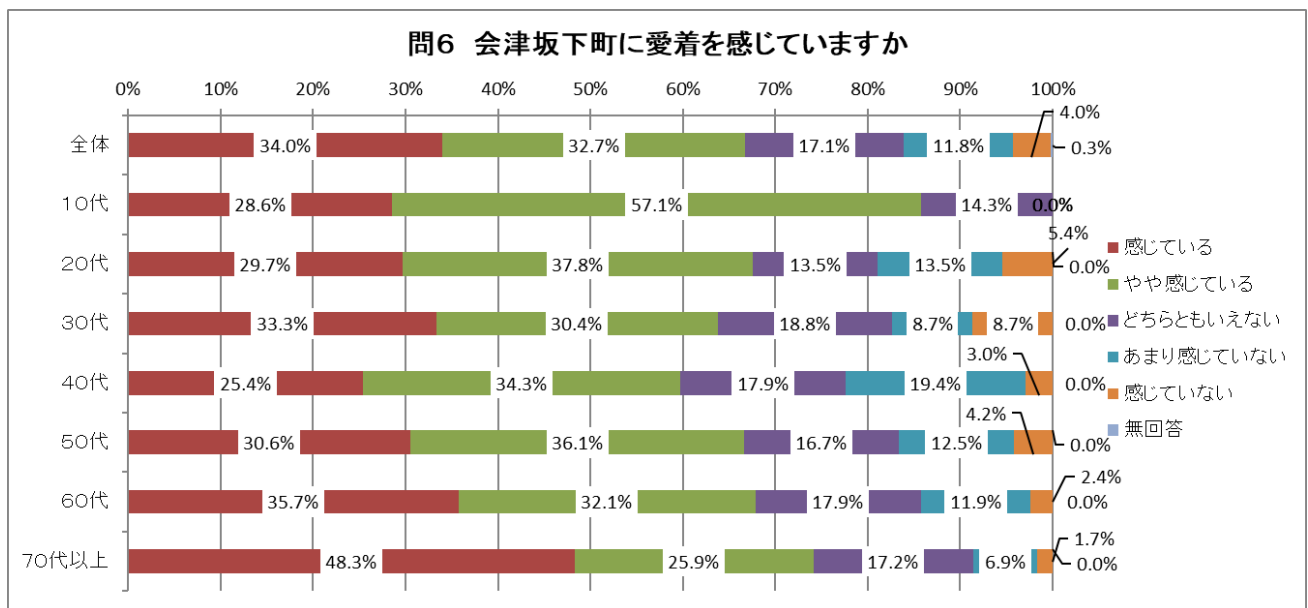
【問5】会津坂下町の住みやすさについて

- ・全体では「どちらかといえば住みやすい」と回答した人の割合が最も高く、「住みやすい」と回答した人と合わせると6割以上の人が会津坂下町は住みやすいと思っているという結果になりました。
- ・全年代の中で「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と回答した人の合計割合が最も高かったのは10代でした。
- ・全年代の中で「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」と回答した人の合計割合が高かったのは20代で約22%、30代で約17%という結果でした。
- ・20代では「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と回答した人の割合が全年代の中では最も低い結果でした。



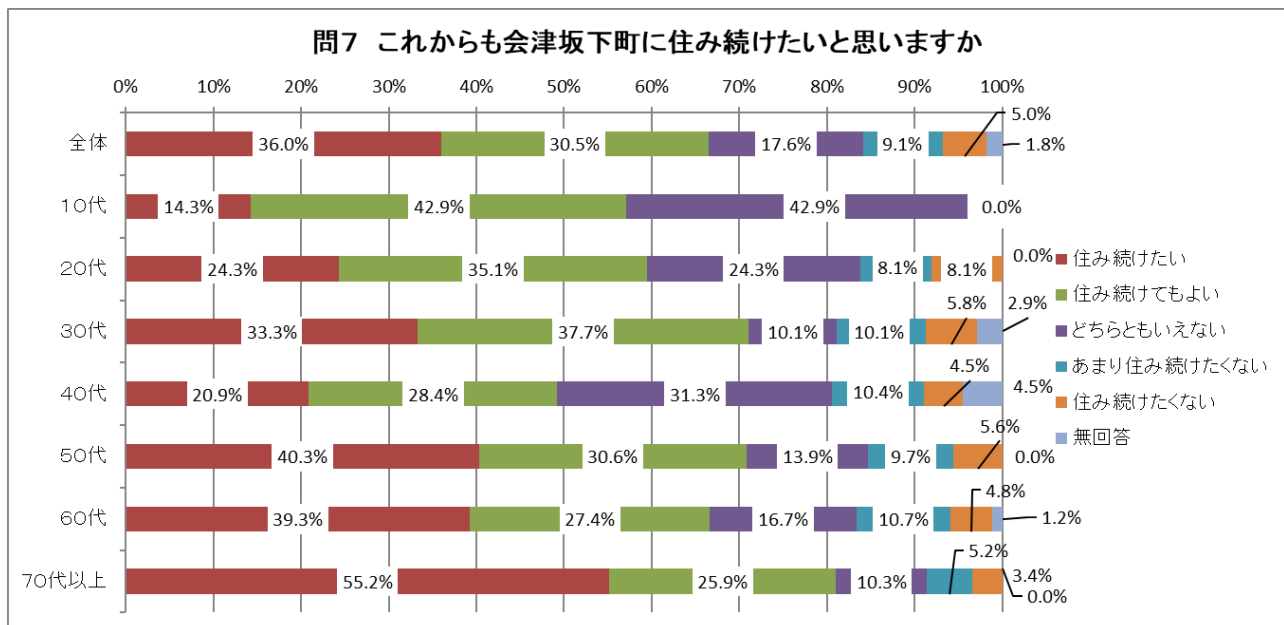
【問6】会津坂下町に対する愛着について

- ・全体では「感じている」「やや感じている」と回答した人の割合が最も高く、6割以上の人が会津坂下町に愛着を感じているという結果になりました。
- ・全年代の中で「感じている」と回答した人の割合が最も高かったのは70代以上で、「感じている」「やや感じている」と回答した人の合計割合が最も高かったのは10代でした。
- ・全年代の中で「感じていない」「あまり感じていない」と回答した人の合計割合が高かったのは40代で約22%という結果でした。



【問 7】 会津坂下町への今後の定住意向について

- ・全体では「住み続けたい」と回答した人の割合が36%と最も高く、「住み続けてもよい」と回答した人と合わせると6割以上の方が会津坂下町に住み続けたいと感じているという結果になりました。
- ・全年代の中で「住み続けたい」と回答した人の割合が最も高かったのは70代以上で約55%、次いで50代で約40%という結果でした。
- ・全年代の中で「住み続けたくない」「あまり住み続けたくない」と回答した人の合計割合が高かったのは20代で約16%という結果でした。
- ・全年代の中で「どちらともいえない」と回答した人の割合が最も高かったのは10代で約43%でした。



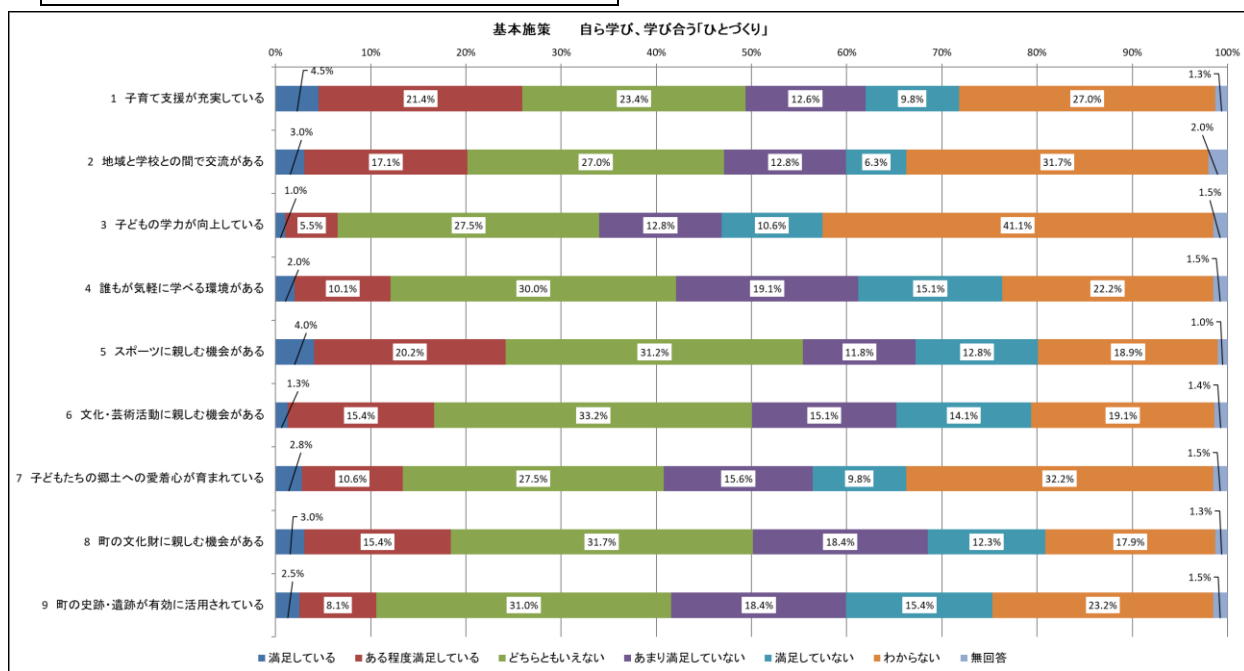
【問８－１】まちづくりの取り組みに対するこれまでの満足度（割合）

第六次会津坂下町振興計画では、まちの将来像「やっぱり“ばんげ”がいい！～住み続けたい、やりたい事があふれるまち～」の実現のため、以下の４つの基本施策を掲げています。

- I 自ら学び、学び合う「ひとづくり」
- II 安全・健康で、快適な「くらしづくり」
- III 活力と魅力があふれ、人が集う「しごとづくり」
- IV 一人ひとりがつながり、みんなで創る「しくみづくり」

この設問では、上記の基本施策に基づいて実施している具体的な取り組みに対するこれまでの満足度について回答していただきました。基本施策ごとの結果は以下の通りです。

I 自ら学び、学び合う「ひとづくり」



このうち、「満足している」「ある程度満足している」を合わせた『満足している』、及び「あまり満足していない」「満足していない」を合わせた『満足していない』で分けると、それぞれの回答割合の高い項目は次の通りとなります。

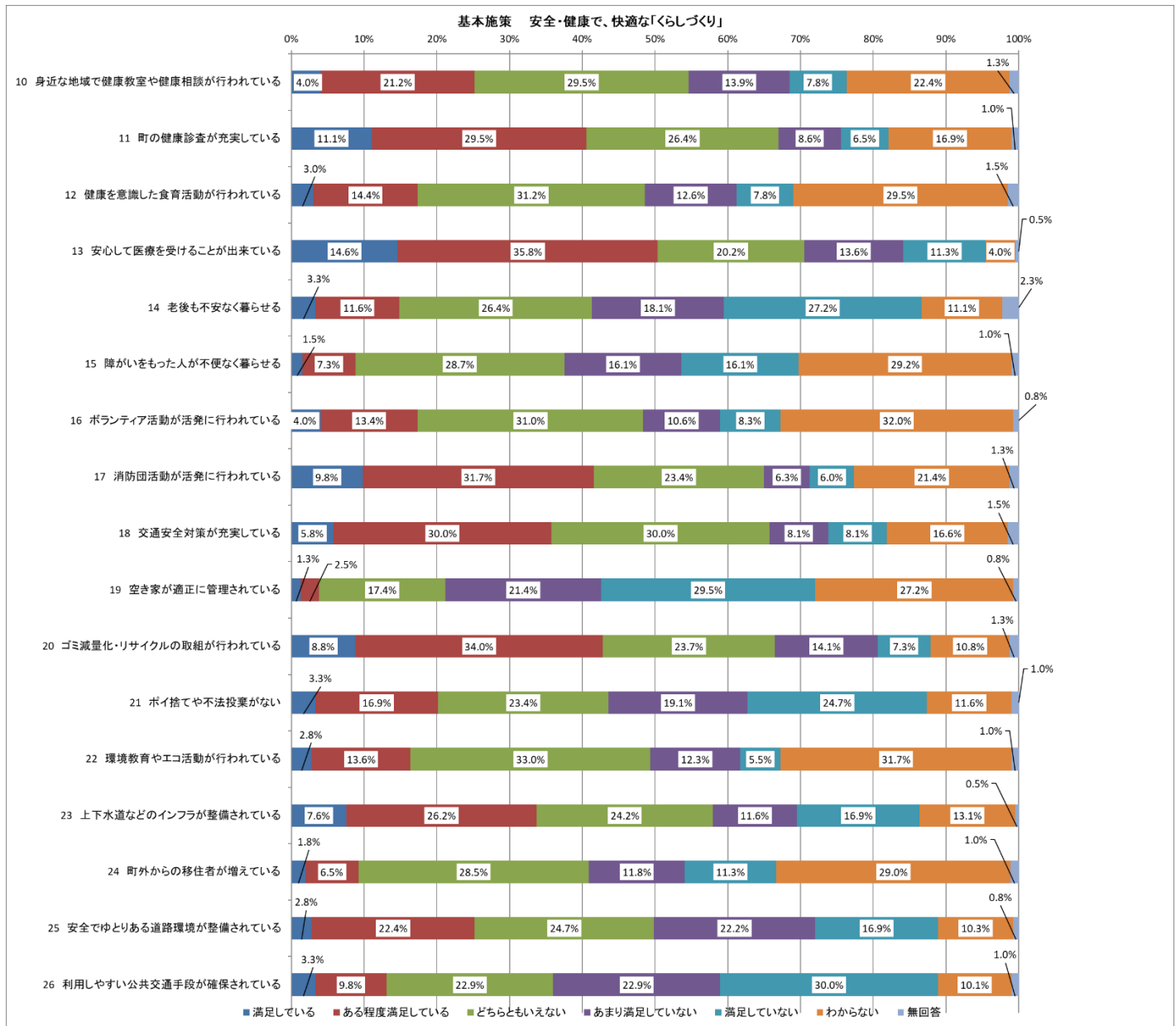
『満足している』の上位項目

1 子育て支援が充実している	25.9%
----------------	-------

『満足していない』の上位項目

4 誰もが気軽に学べる環境がある	34.2%
------------------	-------

Ⅱ 安全・健康で、快適な「くらしづくり」



このうち、「満足している」「ある程度満足している」を合わせた『満足している』、「あまり満足していない」「満足していない」を合わせた『満足していない』で分けると、それぞれの回答割合の高い項目は次の通りとなります。

『満足している』の上位項目

13 安心して医療を受けることが出来ている

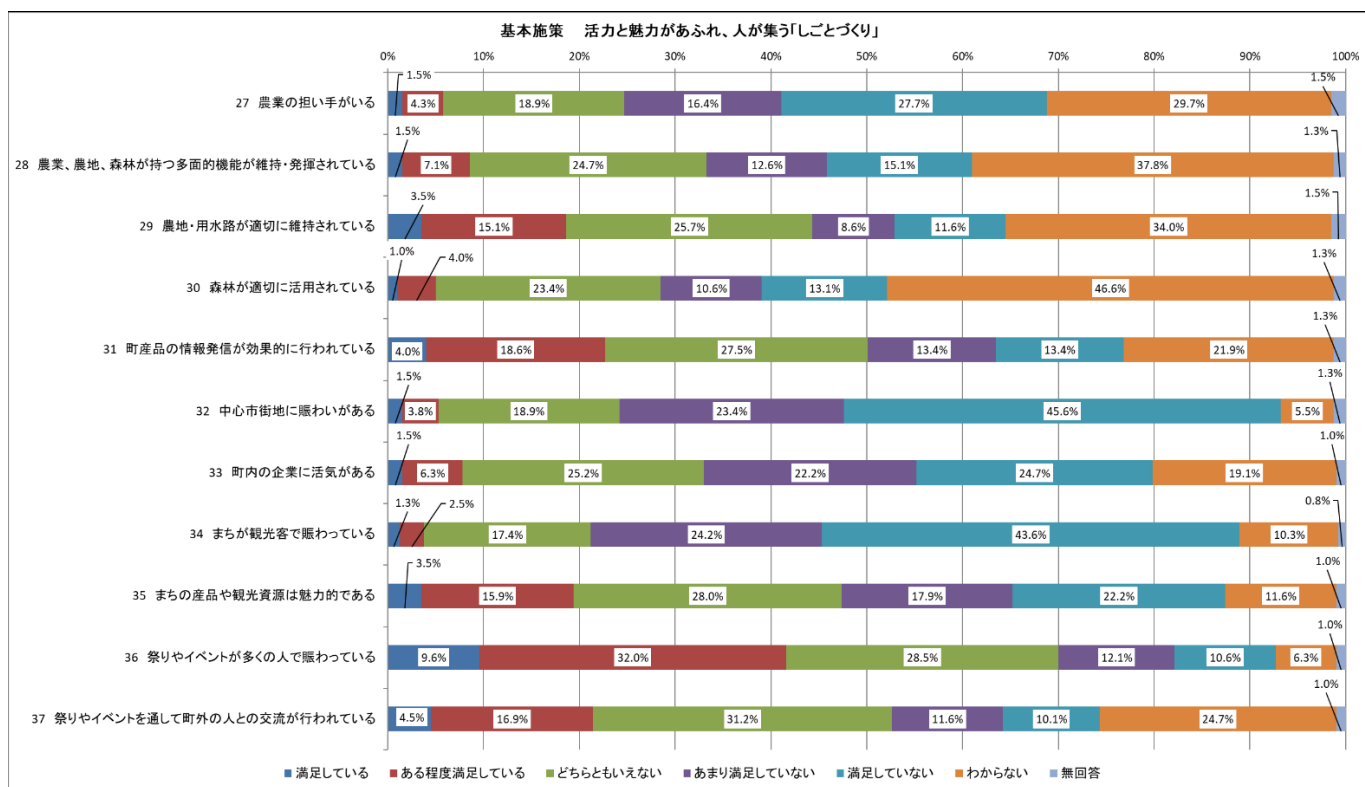
50.4%

『満足していない』の上位項目

26 利用しやすい公共交通手段が確保されている

52.9%

Ⅲ 活力と魅力があふれ、人が集う「しごとづくり」



このうち、「満足している」「ある程度満足している」を合わせた『満足している』、「あまり満足していない」「満足していない」を合わせた『満足していない』で分けると、それぞれの回答割合の高い項目は次の通りとなります。

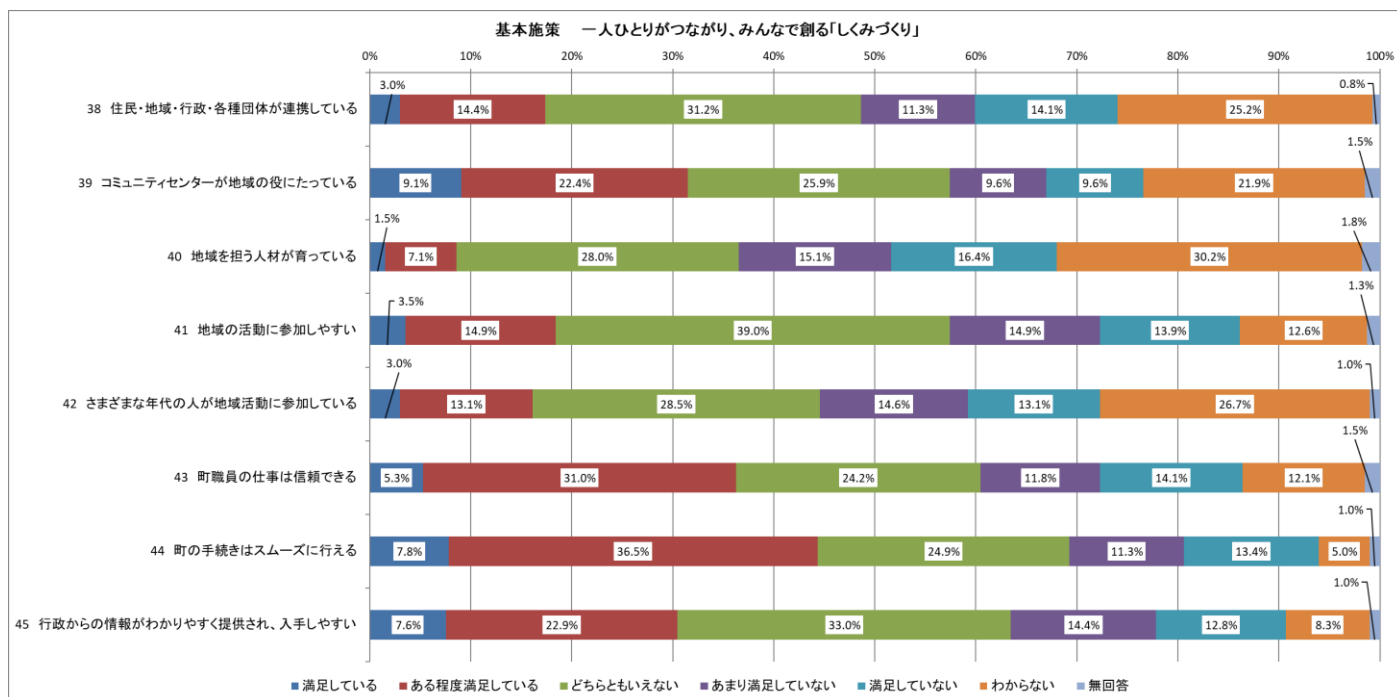
『満足している』の上位項目

36 祭りやイベントが多くの人で賑わっている	41.6%
------------------------	-------

『満足していない』の上位項目

32 中心市街地に賑わいがある	69.0%
-----------------	-------

Ⅳ 一人ひとりがつながり、みんなで創る「しくみづくり」



このうち、「満足している」「ある程度満足している」を合わせた『満足している』、「あまり満足していない」「満足していない」を合わせた『満足していない』で分けると、それぞれの回答割合の高い項目は次の通りとなります。

『満足している』の上位項目

44 町の手続きはスムーズに行える	44.3%
-------------------	-------

『満足していない』の上位項目

40 地域を担う人材が育っている	31.5%
------------------	-------

【問８－１】のすべての項目の中で、「満足している」「ある程度満足している」を合わせた『満足している』、「あまり満足していない」「満足していない」を合わせた『満足していない』で分けると、それぞれの回答割合の高い項目は次の通りとなります。

『満足している』の上位項目

１３	安心して医療を受けることが出来ている	５０．４％
４４	町の手続きはスムーズに行える	４４．３％
２０	ゴミ減量化・リサイクルの取組が行われている	４２．８％

『満足していない』の上位項目

３２	中心市街地に賑わいがある	６９．０％
３４	まちが観光客で賑わっている	６７．８％
２６	利用しやすい公共交通手段が確保されている	５２．９％

以上の結果より、『満足している』と回答した人が半数を超えたのは４５項目中１項目のみでした。

一方、『満足していない』と回答した人の割合が最も高い項目では約６９％でした。また、４５項目中２項目については、満足していない人の割合が６割を超えました。

【参考】令和６年実施結果

『満足している』の上位項目

１３	安心して医療を受けることが出来ている	５０．３％
３６	祭りやイベントが多くの人で賑わっている	４７．１％
２０	ゴミ減量化・リサイクルの取組が行われている	４６．９％

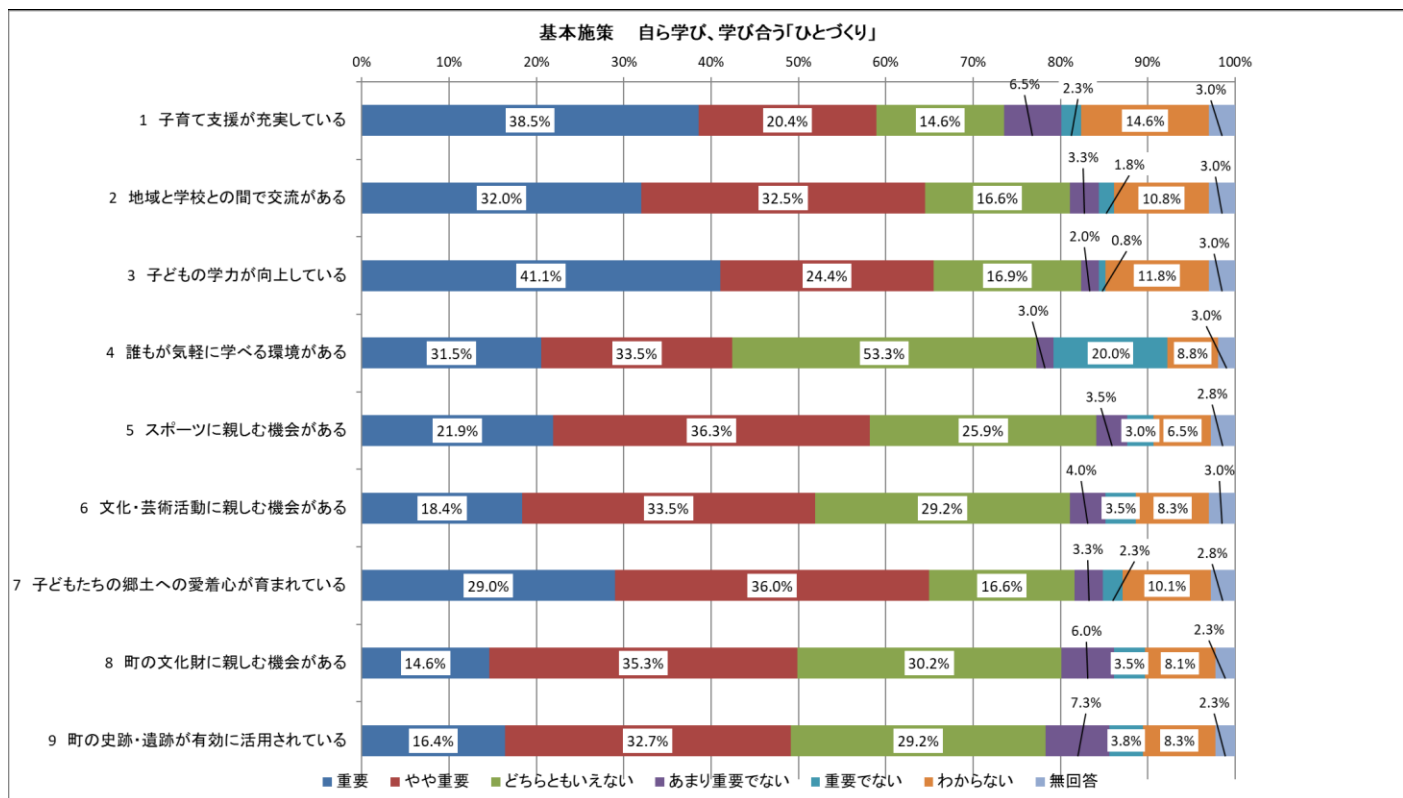
『満足していない』の上位項目

３２	中心市街地に賑わいがある	６９．０％
３４	まちが観光客で賑わっている	６４．０％
２６	利用しやすい公共交通手段が確保されている	４８．３％

【問８－２】まちづくりの取り組みに対するこれからの重要度（割合）

この設問では、【問８－１】と同様に４つの基本施策に基づいて実施している具体的な取り組みに対するこれからの重要度について回答していただきました。基本施策ごとの結果は以下の通りです。

I 自ら学び、学び合う「ひとづくり」



このうち、「重要」「やや重要」を合わせた『重要』、「あまり重要でない」「重要でない」を合わせた『重要でない』で分けると、それぞれの回答割合の高い項目は次の通りとなります。

『重要』の上位項目

3 子どもの学力が向上している

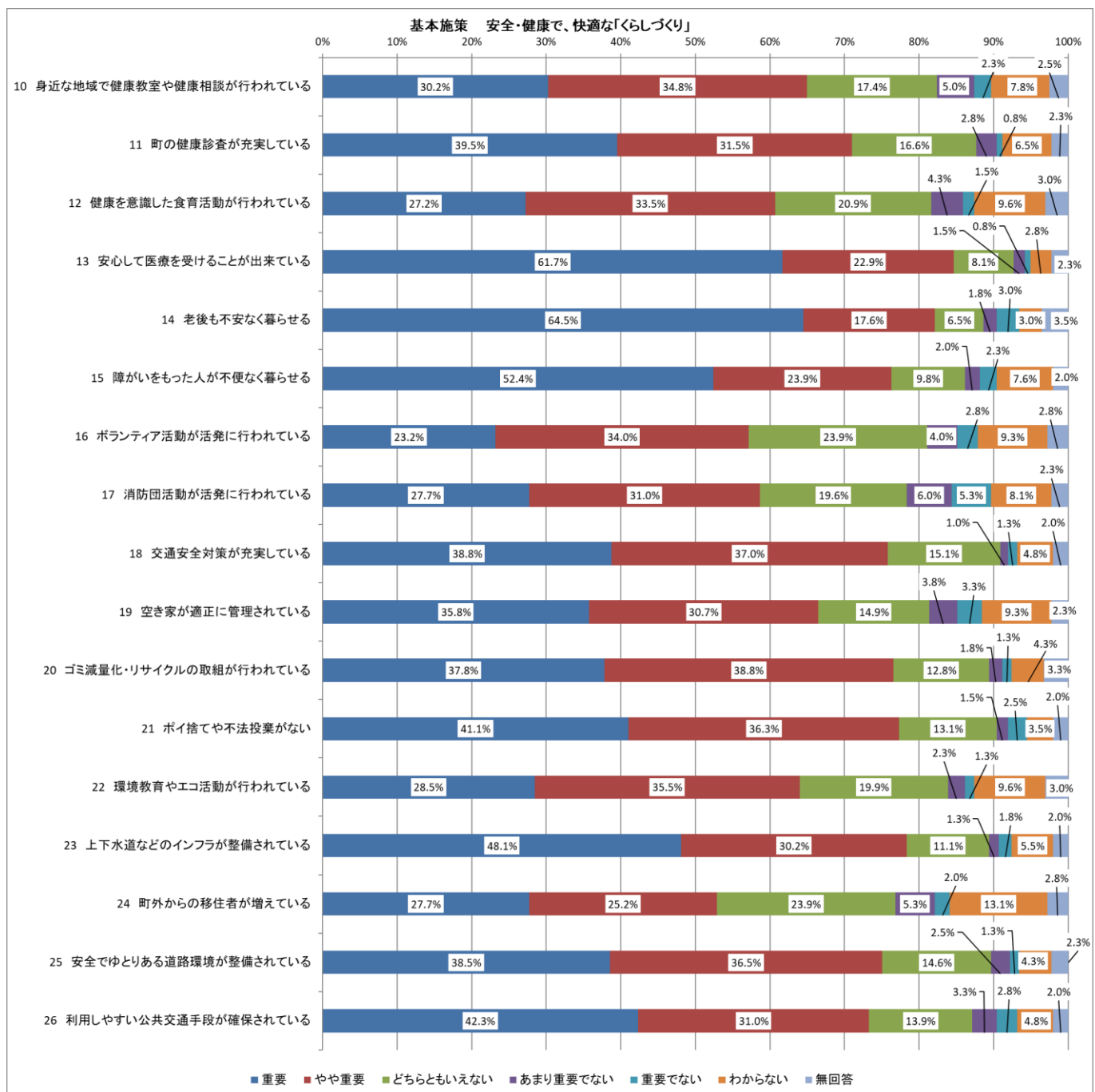
65.5%

『重要でない』の上位項目

4 誰もが気軽に学べる環境がある

23.0%

Ⅱ 安全・健康で、快適な「くらしづくり」



このうち、「重要」「やや重要」を合わせた『重要』、「あまり重要でない」「重要でない」を合わせた『重要でない』で分けると、それぞれの回答割合の高い項目は次の通りとなります。

『重要』の上位項目

13 安心して医療を受けることが出来ている

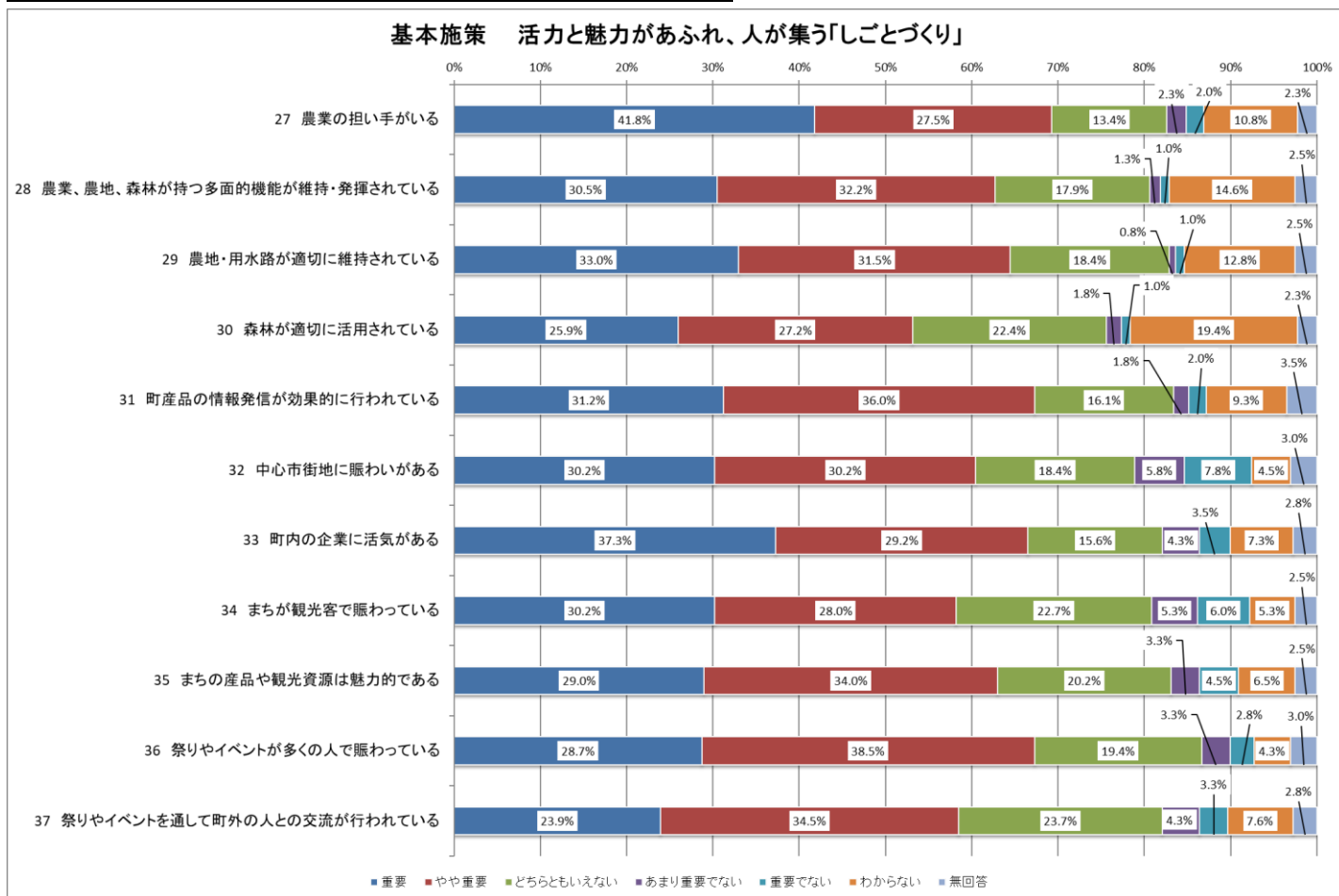
84.6%

『重要でない』の上位項目

17 消防団活動が活発に行われている

11.3%

Ⅲ 活力と魅力があふれ、人が集う「しごとづくり」



このうち、「重要」「やや重要」を合わせた『重要』、「あまり重要でない」「重要でない」を合わせた『重要でない』で分けると、それぞれの回答割合の高い項目は次の通りとなります。

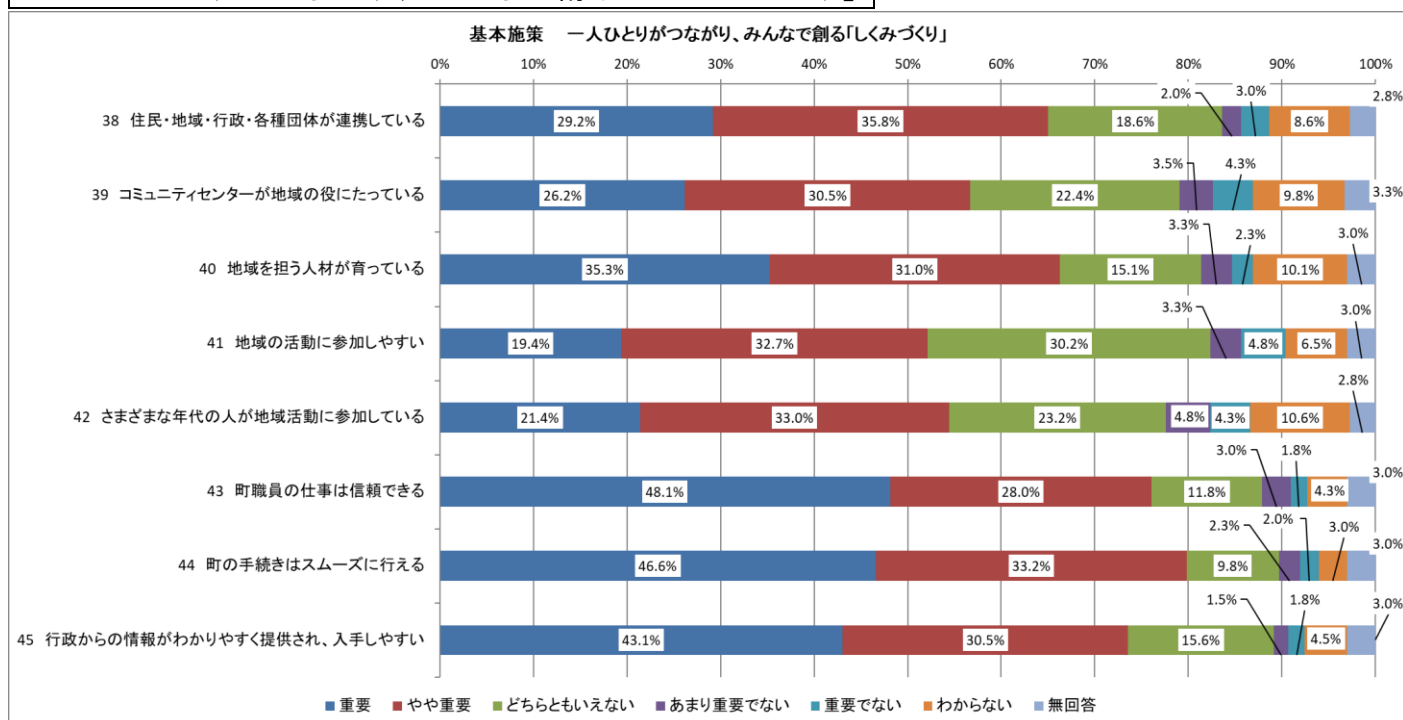
『重要』の上位項目

27 農業の担い手がいる	69.3%
--------------	-------

『重要でない』の上位項目

32 中心市街地に賑わいがある	13.6%
-----------------	-------

Ⅳ 一人ひとりがつながり、みんなで創る「しくみづくり」



このうち、「重要」「やや重要」を合わせた『重要』、「あまり重要でない」「重要でない」を合わせた『重要でない』で分けると、それぞれの回答割合の高い項目は次の通りとなります。

『重要』の上位項目

44 町の手続きはスムーズに行える	79.8%
-------------------	-------

『重要でない』の上位項目

42 さまざまな年代の人が地域活動に参加している	9.1%
--------------------------	------

【問８－２】のすべての項目の中で、「重要」「やや重要」を合わせた『重要』、「あまり重要でない」「重要でない」を合わせた『重要でない』で分けると、それぞれの回答割合の高い項目は次の通りとなります。

『重要』の上位項目

1 3	安心して医療を受けることが出来ている	8 4 . 6 %
1 4	老後も不安なく暮らせる	8 2 . 1 %
4 4	町の手続きはスムーズに行える	7 9 . 8 %

『重要でない』の上位項目

4	誰もが気軽に学べる環境がある	2 3 . 0 %
3 2	中心市街地に賑わいがある	1 3 . 6 %
1 7	消防団活動が活発に行われている	1 1 . 3 %
3 4	まちが観光客で賑わっている	1 1 . 3 %

重要度についてお聞きしたこの設問では、ほとんどの項目について半数以上の人が『重要』だと考えているという結果になりました。

『重要でない』と回答した人の割合は、もっとも高い項目で約 2 3 % でした。

以上の結果から、これからの重要度としては、ほとんどの取り組みについて重要であると考えている人が多いという結果になりました。そのなかでも、特に生活に密接に関わる項目の重要度が高い傾向がありました。

【参考】令和 6 年実施結果

『重要』の上位項目

1 3	安心して医療を受けることが出来ている	8 5 . 0 %
1 4	老後も不安なく暮らせる	8 2 . 2 %
1	子育て支援が充実している	8 1 . 5 %

『重要でない』の上位項目

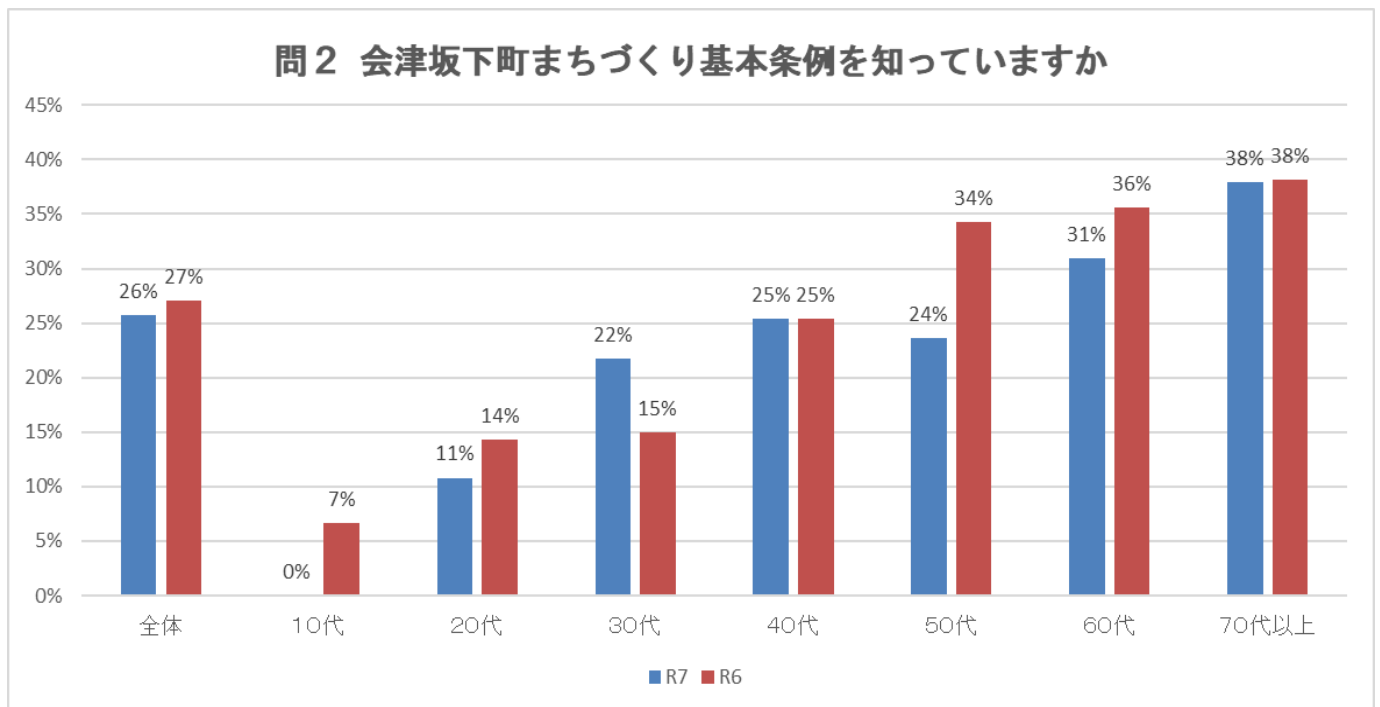
3 2	中心市街地に賑わいがある	9 . 9 %
9	町の史跡・遺跡が有効に活用されている	9 . 5 %
1 7	消防団活動が活発に行われている	9 . 2 %

4. 前回調査結果との比較（問2～問8－1・2）

令和6年実施の住民満足度調査結果と比較したものをグラフにしました。

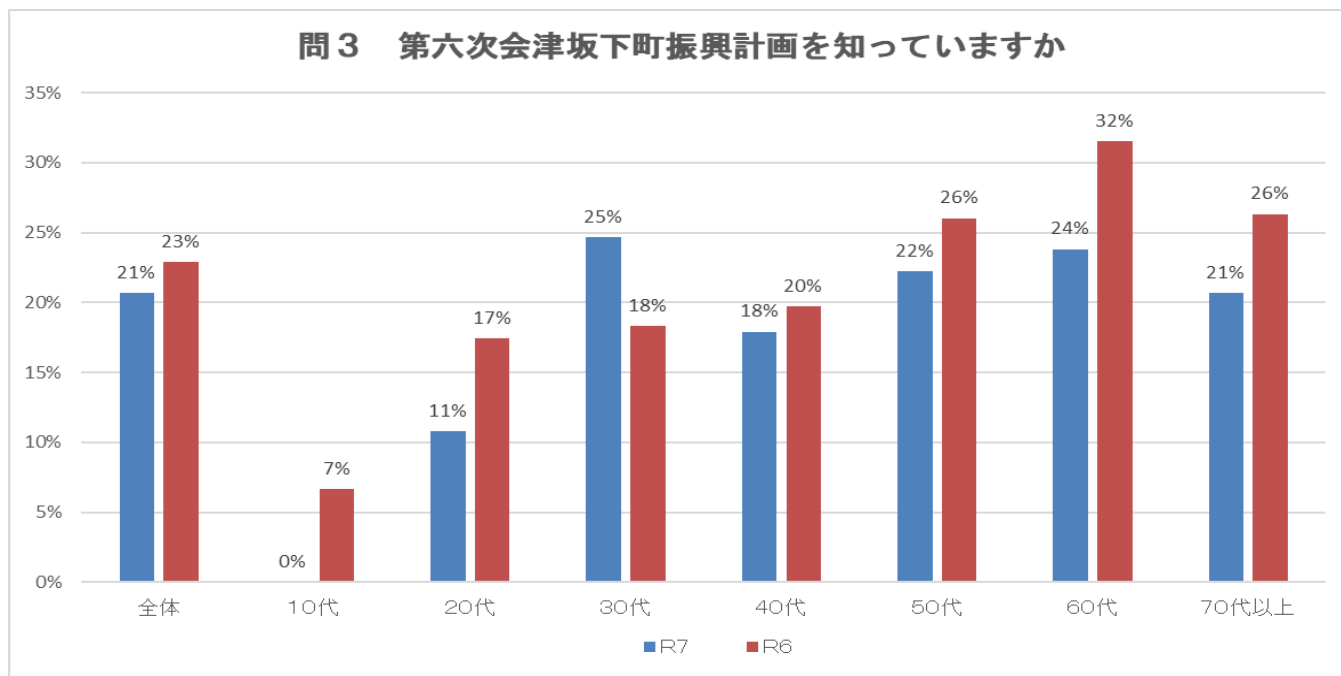
【問2】会津坂下町まちづくり基本条例の認知度について

会津坂下町まちづくり基本条例を「知っている」と回答した人の割合を年代ごとに比較しました。「知っている」と回答した人の割合が前回結果と比較し増加したのが30代のみでした。全体的に知っていると回答した人の割合が減少しており、特に50代の減少が一番大きい結果となりました。



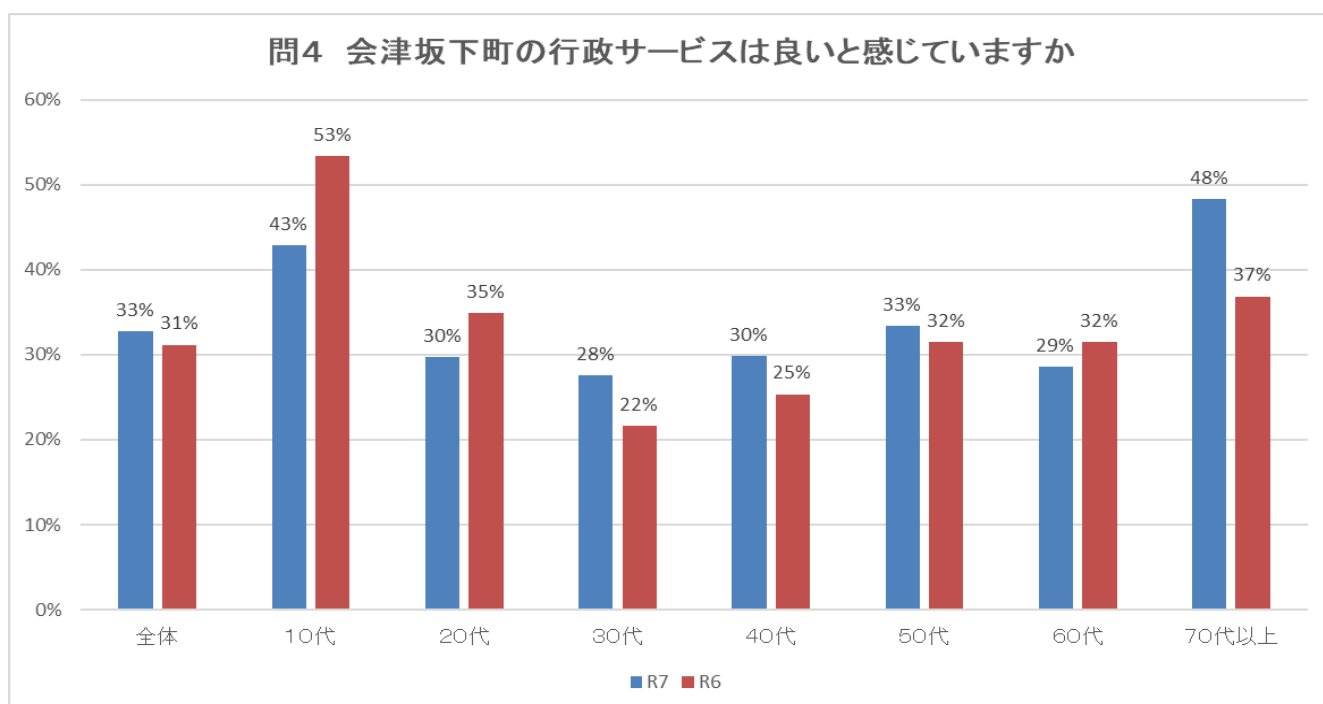
【問3】第六次会津坂下町振興計画の認知度について

第六次会津坂下町振興計画を「知っている」と回答した人の割合を年代ごとに比較しました。「知っている」と回答した人の割合が増加したのは30代のみでした。全体的に知っていると回答した人の割合は減少しており、特に60代の減少が最も大きい結果となりました。



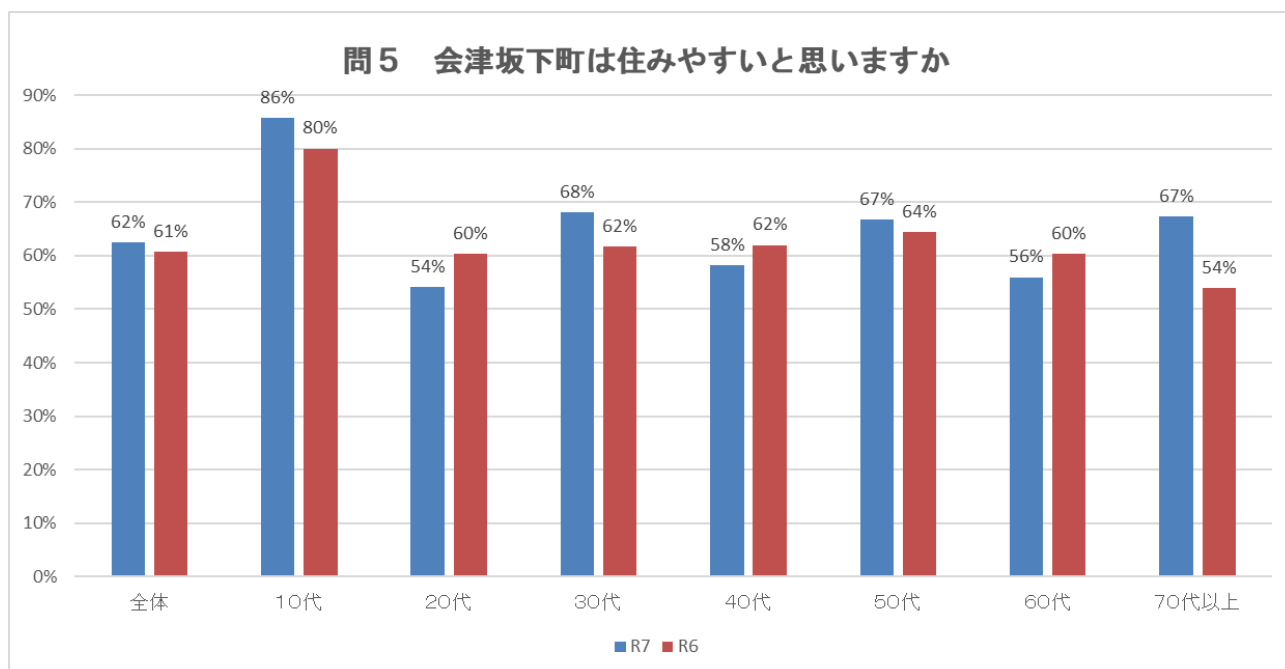
【問4】会津坂下町の行政サービスについて

「そう感じる」「どちらかといえばそう感じる」を合わせた『そう感じる』の回答割合を年代ごとに比較しました。『そう感じる』と回答した人の割合が最も増加したのは70代以上でした。しかし、10代については10%減と最も減少が大きい結果となりました。



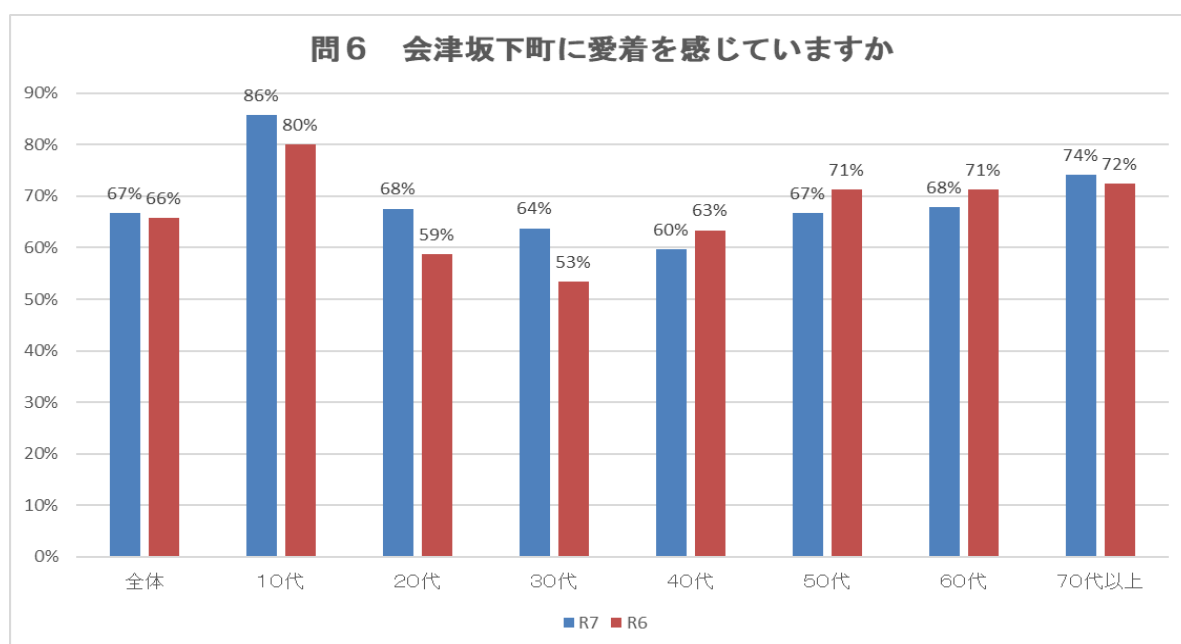
【問5】会津坂下町の住みやすさについて

「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた『住みやすい』の回答割合を年代ごとに比較しました。前回結果も含め全ての年代で『住みやすい』と回答した人の割合が半数を超えていました。また、『住みやすい』と回答した人の割合が最も増加したのは70代以上となっており、13%上昇しました。



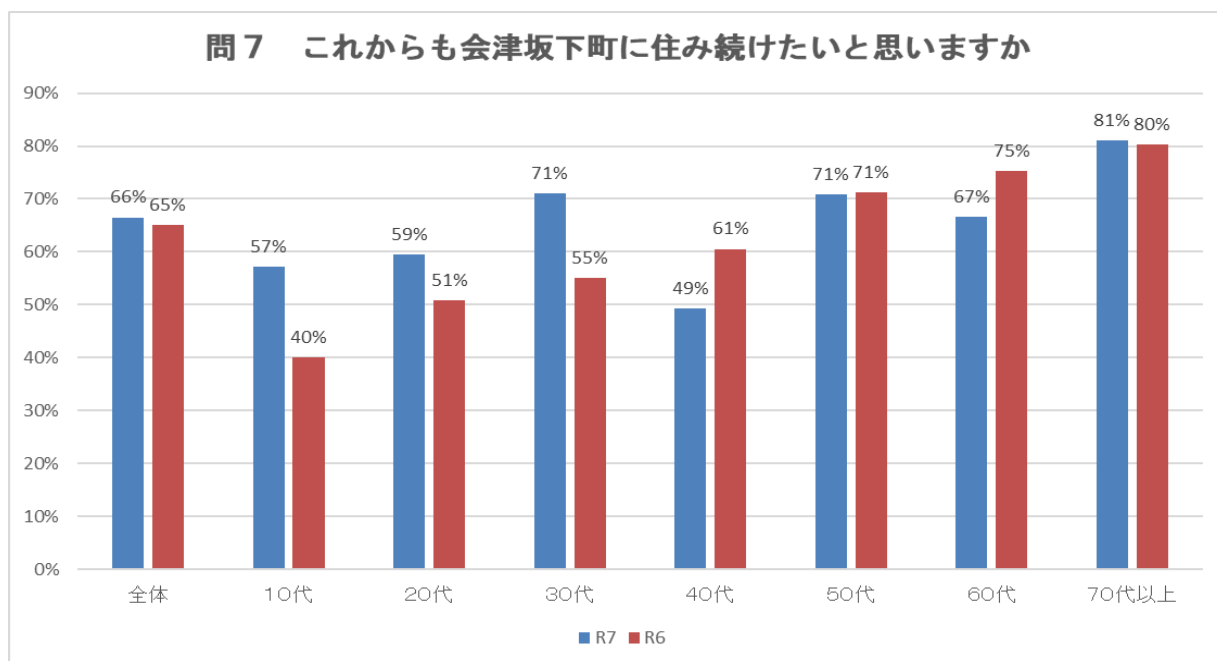
【問6】会津坂下町に対する愛着について

「感じている」「やや感じている」を合わせた『感じている』の回答割合を年代ごとに比較しました。前回、今回ともに『感じている』と回答した人の割合は全ての年代で半数を超えていました。また、20～30代については10%近く上昇しました。



【問 7】会津坂下町への今後の定住意向について

「住み続けたい」「住み続けてもよい」を合わせた『住み続けたい』の回答割合を年代ごとに比較しました。40代と60代だけが『住み続けたい』と回答した人の割合が減少しました。そのうち40代については、12%と減少が大きい結果となりました。一方、30代については16%と大きく増加しました。



【問 8－1、2】まちづくりの取り組みに対するこれまでの満足度・重要度

「満足している」「ある程度満足している」を合わせた『満足している』及び「重要」「やや重要」を合わせた『重要』の回答割合となっています。

★印の設問については第六次会津坂下町後期基本計画において重点施策と位置づけられているものです。

基本施策 自ら学び、学び合う「ひとづくり」

【満足度】

- ・全体的に低下傾向にあります。が、「2 地域と学校との間で交流がある」が、前回と比較し 3.1%と特に低下しました。

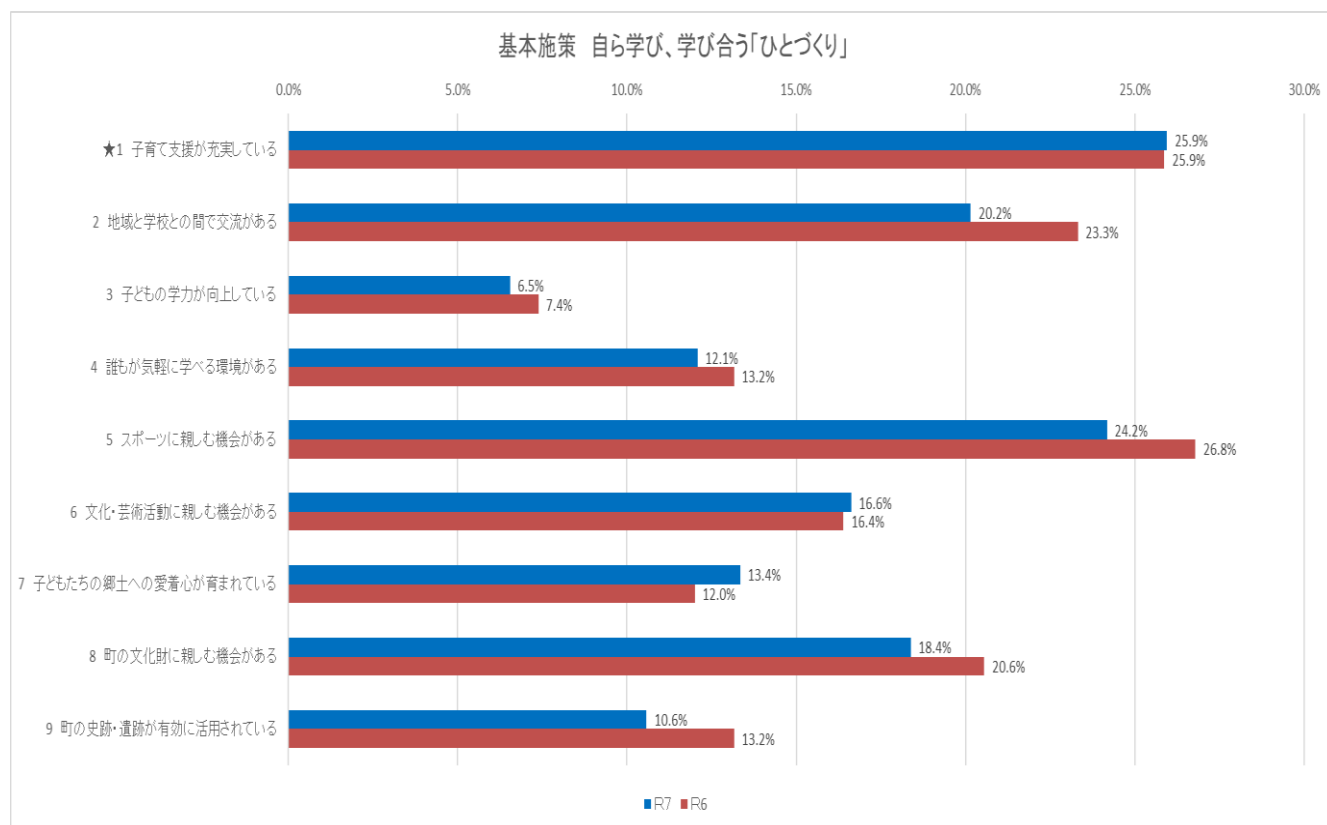
【重要度】

- ・全体的に低下傾向にあります。が、特に、「1 子育て支援が充実している」が前回と比較し、22.6%と大幅に低下しました。

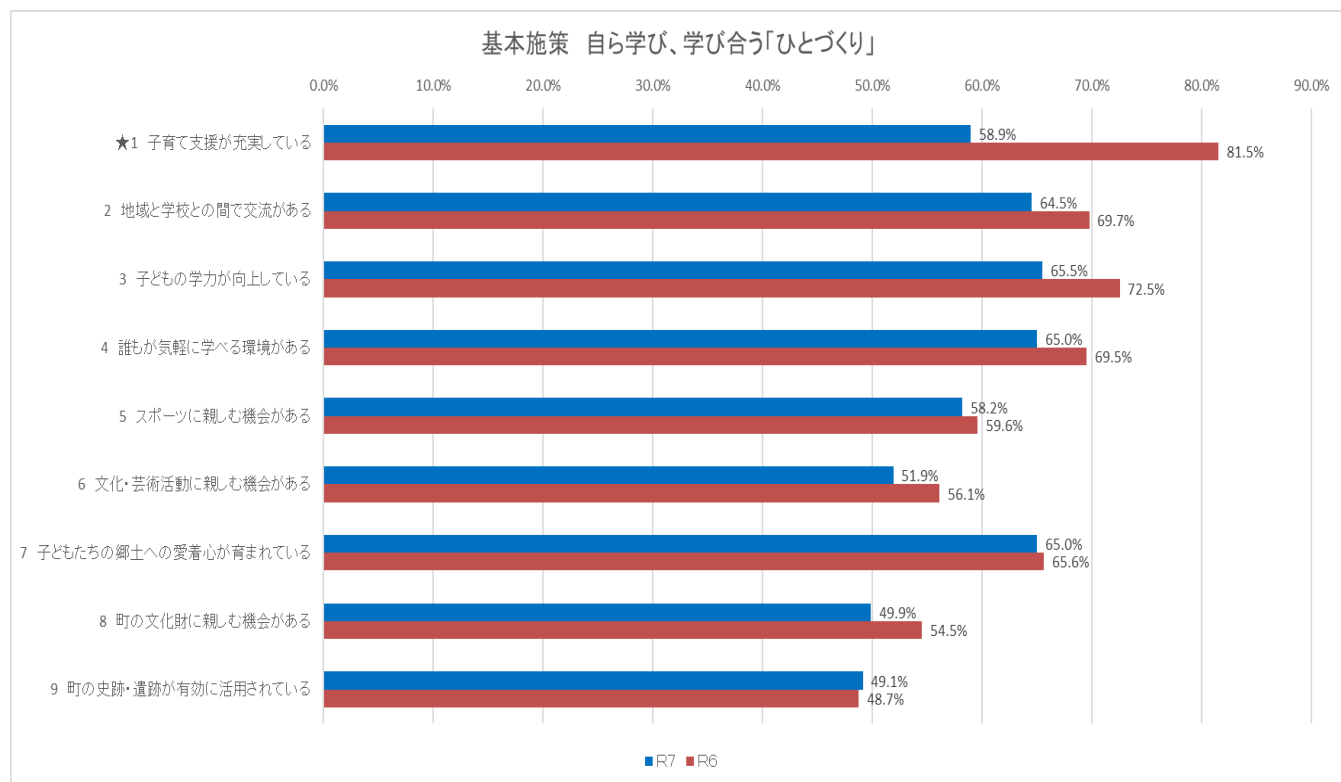
【重点施策：人口減少対策】

- ・「1 子育て支援が充実している」の満足度は前回と同じ割合でしたが、重要度に関しては前回の割合よりも大幅に低下しました。

満足度



重要度



基本施策 安心・安全で、快適な「くらしづくり」

【満足度】

- ・全体的に低下傾向にありますが、「20ゴミ減量化・リサイクルの取扱いが行われている」が前回と比較し、4.1%と特に低下しました。

【重要度】

- ・「23上下水道などのインフラが整備されている」は前回と比較し、1.6%増加しました。一方で、その他の項目については低下傾向にあります。

【重点施策：担い手の確保】

- ・「15障がいをもった人が不便なく暮らせる」の満足度は、8.8%と低い一方で、重要度は76.3%と7割以上が重要であるとの結果になりました。また満足度・重要度ともに前回結果より低下している結果となりました。

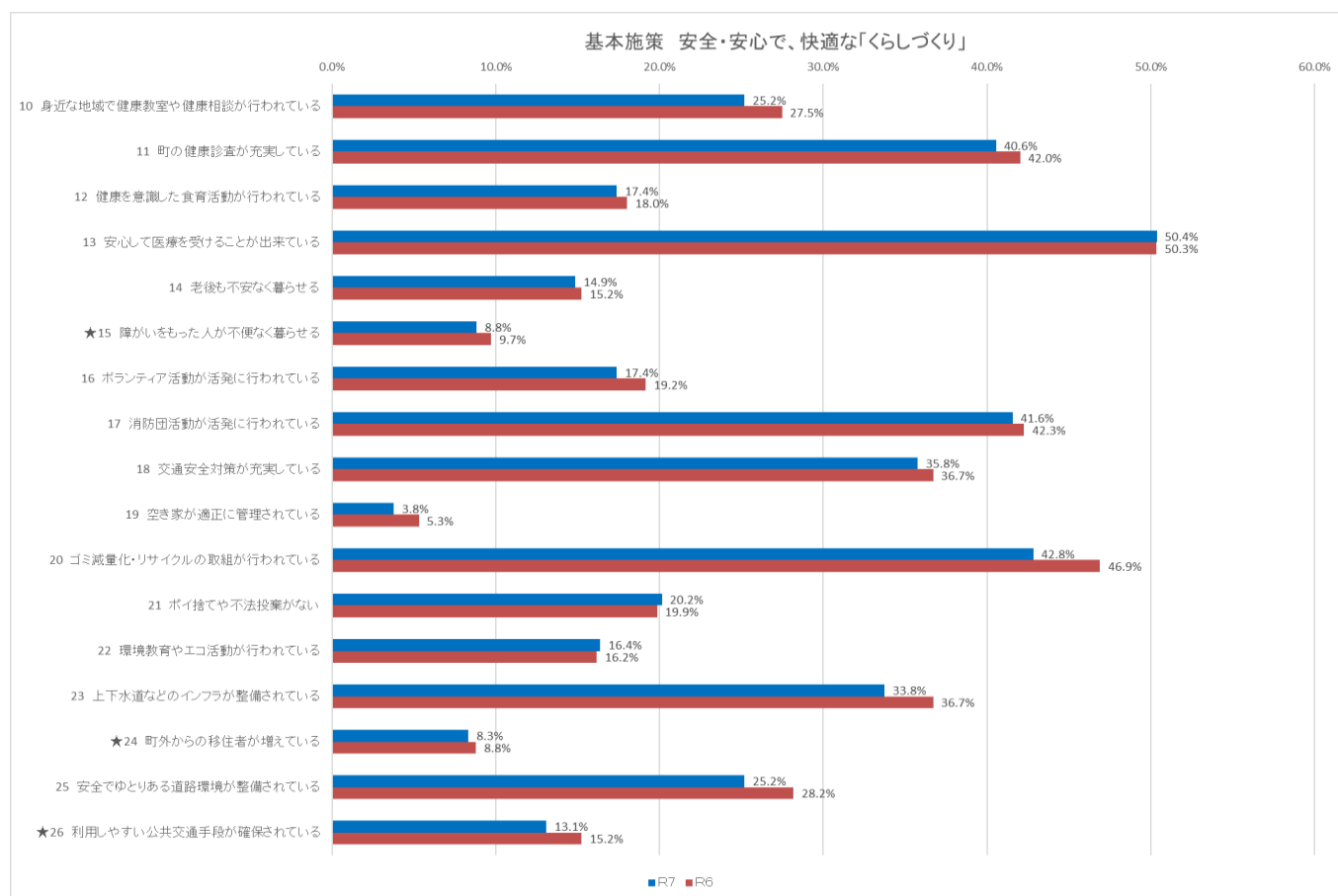
【重点施策：人口減少対策】

- ・「24町外からの移住者が増えている」の満足度については、前回・今回ともに10%を下回る一方、重要度については50%以上と半数以上が重要であるとの結果になりました。

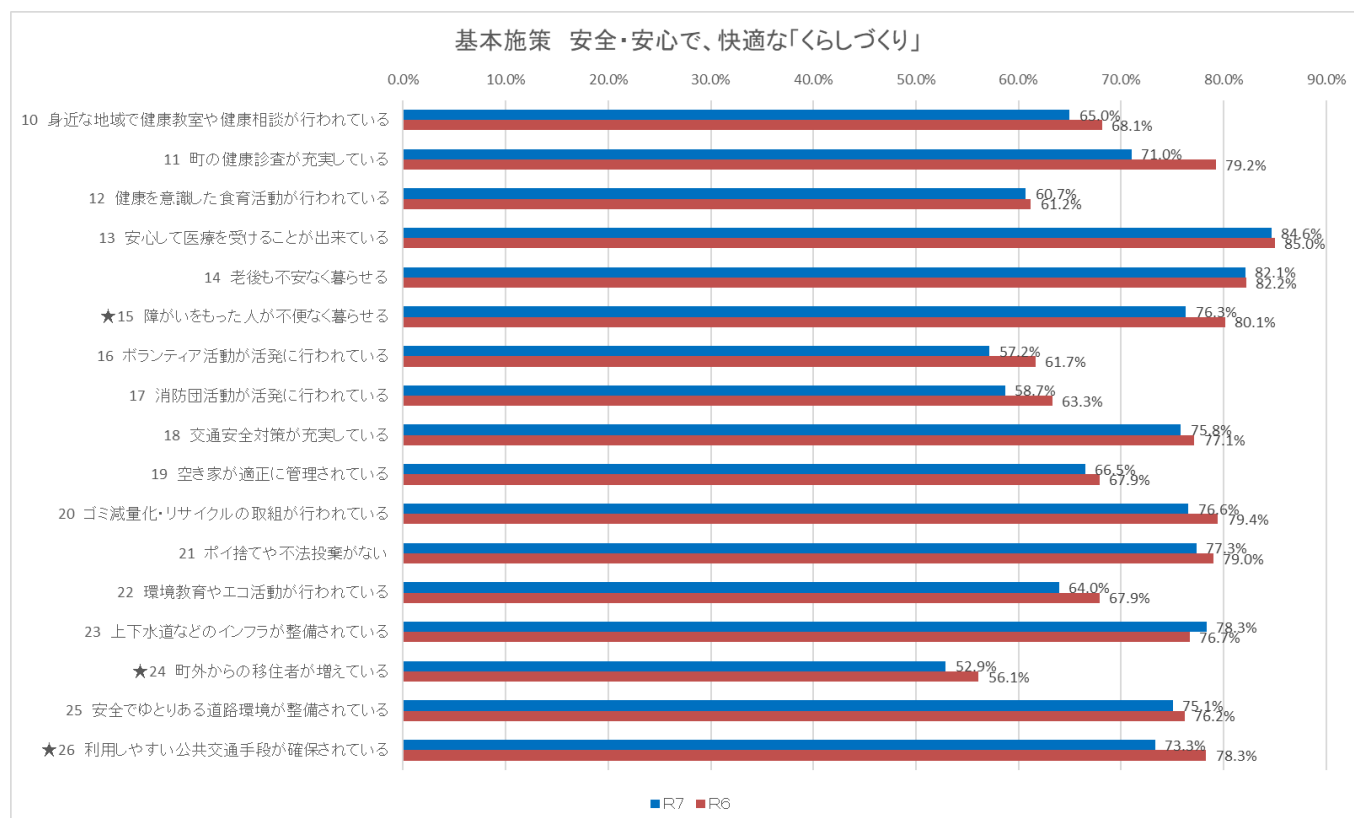
【重点施策：公共交通対策】

- ・「26利用しやすい公共交通手段が確保されている」の今年度の満足度は13.1%と低い一方で、重要度は73.3%と7割以上が重要であるとの結果になりました。また満足度・重要度ともに前回結果より低下している結果となりました。

満足度



重要度



基本施策 活力と魅力があふれ、人が集う「しごとづくり」

【満足度】

- ・全体的に低下傾向にありますが、「36祭りやイベントが多くの人で賑わっている」は、前回と比較し5.5%と特に低下しています。

【重要度】

- ・前回と比較し、「31町産品の情報発信が効果的に行われている」が、3.8%と特に増加し、次いで「30森林が適切に活用されている」が2.5%増加した結果となりました。

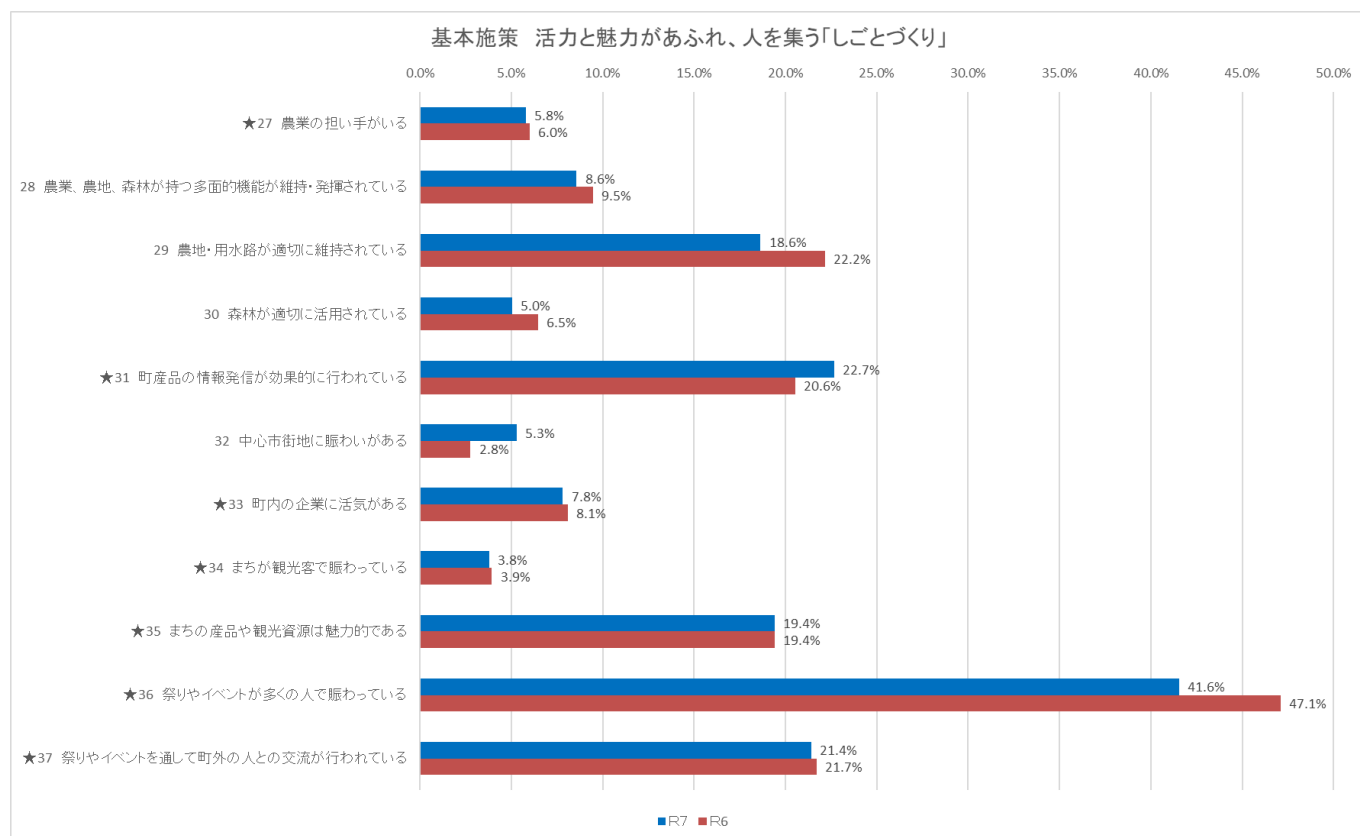
【重点施策：担い手の確保】

- ・「27農業の担い手がいる」の満足度について前回・今回ともに10%以下と低い一方、重要度は約7割が重要であるとの結果になりました。
- ・「33町内の企業に活気がある」の満足度に関しては前回と比較しほぼ同程度となっているが、重要度については7.2%と大きく低下しました。
- ・「34まちが観光客で賑わっている」の満足度は前回・今回ともに10%未満と低い一方、重要度は約半数以上が重要であるとの結果となりました。
- ・「35町産品や観光資源は魅力的である」の今回・前回ともに満足度の数値は増減なしですが、重要度は前回よりも低下しました。
- ・「36祭りやイベントが多くの人で賑わっている」の満足度について前回と比較し、5.5%と大きい低下がみられました。また重要度についても5.2%と低下が大きいという結果でした。
- ・「37祭りやイベントを通して町外の人との交流が行われている」の満足度について前回・今回ともにほぼ同程度の割合となりました。重要度については、前回と比較し2%の上昇となりました。

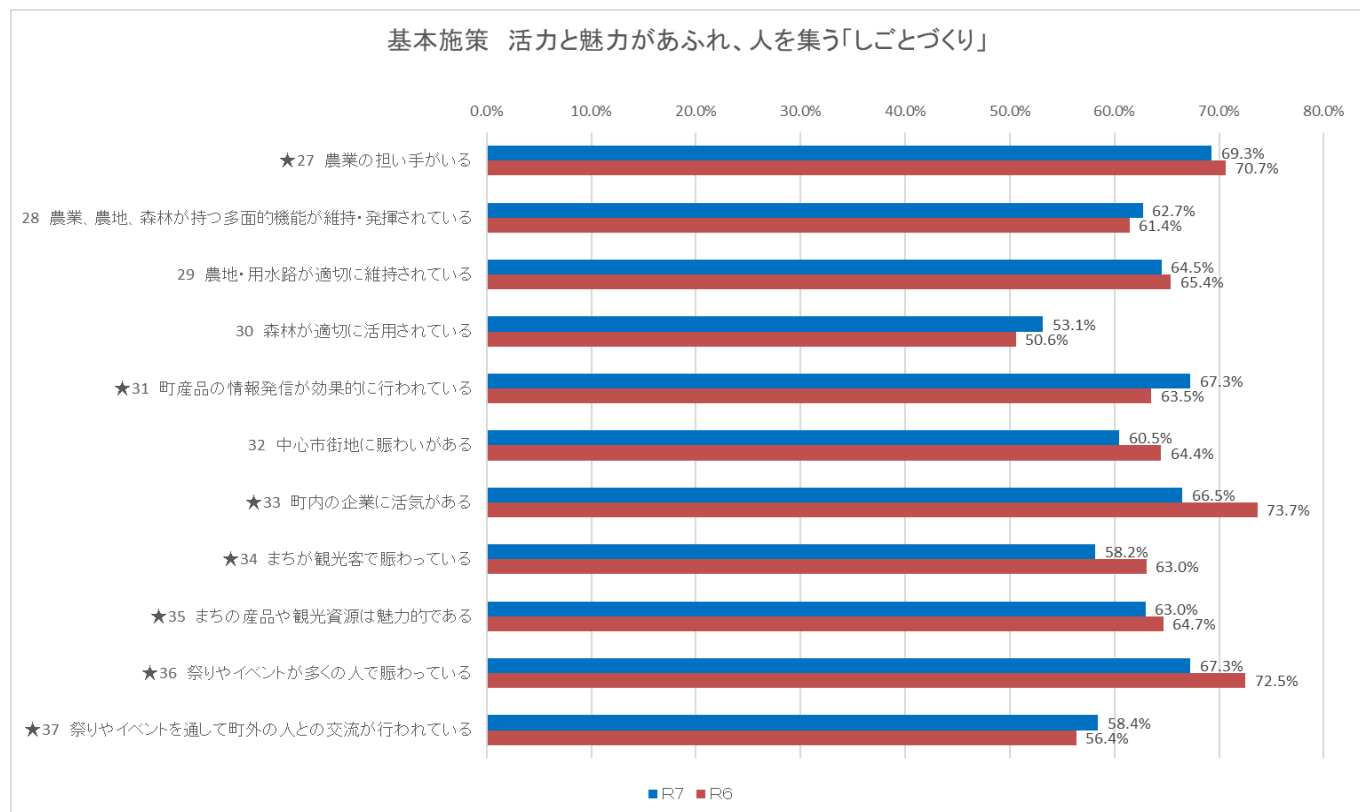
【重点施策：人口減少対策】

- ・「31町産品の情報発信が効果的に行われている」は前回と比較し、満足度・重要度ともに上昇しました。

満足度



重要度



【満足度】

- ・前年度と比較し、「４４町の手続きはスムーズに行える」が４．８％と特に増加し、次いで「４５ 行政からの情報がわかりやすく提供され、入手しやすい」が２．８％増加した結果となりました。

【重要度】

- ・前年度と比較し、「４４町の手続きはスムーズに行える」は２．９％増加しました。一方でその他の項目については低下傾向にあります。

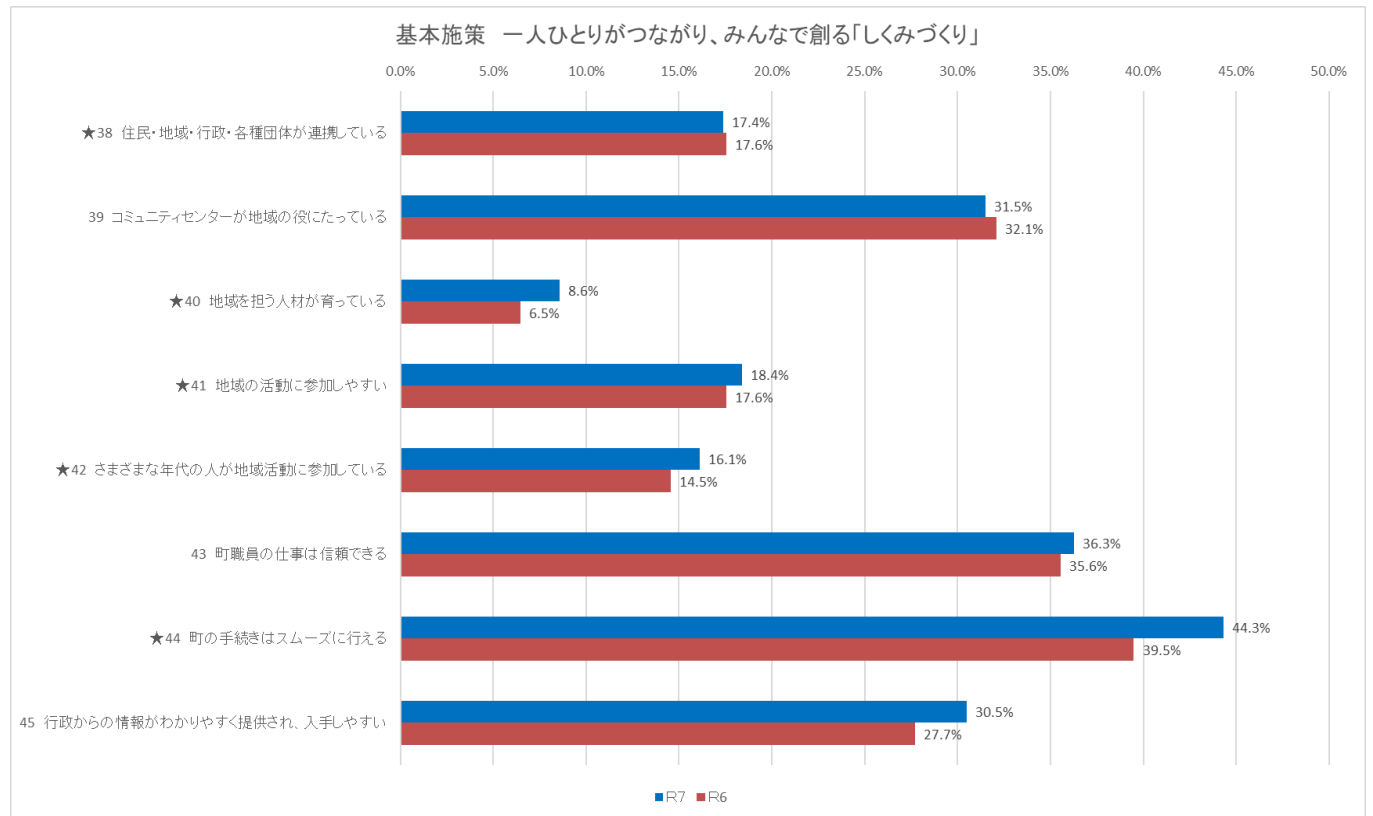
【重点施策：担い手の確保】

- ・「３８住民・地域・行政・各種団体が連携している」の満足度については、前回・今回ともにほぼ同程度の割合となりましたが、重要度は３．８％の低下となりました。
- ・「４０地域を担う人材が育っている」の満足度は前回と比較し２．１％上昇しましたが、前回・今回ともに１０％未満と低い割合のままです。重要度については１．９％低下しました。
- ・「４１地域の活動に参加しやすい」の満足度については前回と比較し０．８％上昇しましたが、重要度については３．３％の低下となりました。
- ・「４２さまざまな年代の人が地域活動に参加している」の満足度については前回と比較し１．６％上昇しましたが、重要度については１％の低下となりました。

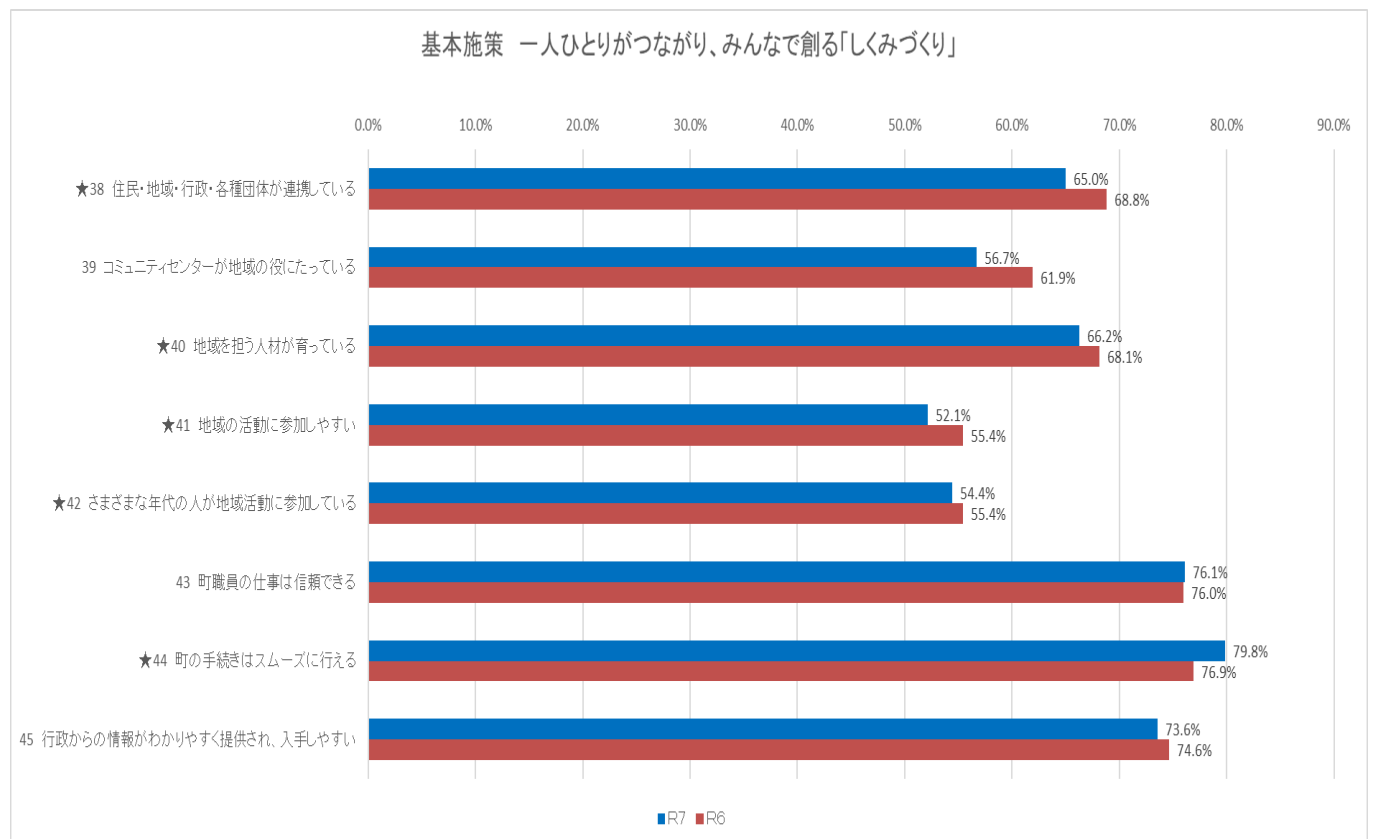
【重点施策：ＤＸの推進】

- ・「４４町の手続きはスムーズに行える」の満足度については、４４．３％と前回よりも４．８％上昇しました。重要度についても７９．８％と前回よりも２．９％上昇しました。

満足度



重要度



5. 町の将来について(自由記述)

いただいたご意見については、個人が特定されないよう当該部分の修正または削除を行っております。なお、明らかな誤字等以外は修正せずに掲載しています。

No.	会津坂下町の将来について、夢やアイデアなどのご提言がありましたら、お聞かせください。(自由記述)
1	うまれが八幡、結婚して広瀬住民になりました。坂下町から外に出るということは考えたことはありませんでした。中学時代まわりに何もなかったプールまわりには新町にたくさん住宅が建設され町外から新築のために移住してきた方が多いのか中岩田界わいも様変わりしました。 映画やコンサートなど聞きにいける観に行ける空間がない 道の駅ははじっこ湯川村よりにある、役場周辺メインストリートは駐車場が安心してとめられない。図書館など気軽には入れて、十分な人数が入れる施設があれば これから老後どうやって生きてゆけばよいのかと、、少し現実的に考えたりしています。坂下が大好きだからずっと住みつづけていました。これからもすこしでも行きやすくすみやすい町になるようにおねがいしたいです。
2	様々な方法で、人口減少を防ぐ事が最重要な問題であると思う。
3	将来についてはとにかく治安のよい住みやすい町になるよう希望します。全国的に人口減少社会になっていますが何とか若い人が住んでくれる他の市町村からも移住しやすい働く場所がある町、弱者が取り残されることのない町、そんな町づくりをただただ願うばかりです。決してかんたんなことでないのはわかっていますが会津坂下町オリジナルの何かが見つかること(魅力のある)。最後に住んで良かったとみんなが思えばよいのではないのでしょうか？
4	古川町長みたいに人の意見を聞く人になりたい。町長ガンバレ ありがとう御座居ます。
5	坂下町に移住する、したくなる情報提供する方法があれば検討してほしい。 廃湯になった糸桜の湯を大学生の部活の合宿などに利用させて活用する。(夏合宿用) 道の駅で会津坂下町の特産品の宣伝と直販を定期的に出店する。
6	若い人がこの地に住みつづけられる魅力ある町になってほしい。収入の安定・子育てにおいては(男性の育休、チャイルドシート補助金とか)色々若い女性が町から出ていかないうような何か今のところ考えてはいるが夢のあるアイデアがでてこない せっかく道の駅があり、にぎわっているようにみえるので、この道の駅で町の特産品を出品してピーアールしてほしい町役場にそういう事をする課を使ってみる。
7	子供の数の減少に不安を感じています。 将来、地域を維持していくことが困難になっていくのではないかと感じています。 少子化に役立つかはわかりませんが役場新設の際には子供の遊ぶスペースを作ってはどうかと思います。

8	少子高齢化を解消できるよう、坂下町に住んでみたいと思えるような取組みや今後も住み続けたいと思うことのできる取組みが何かあると良いと思う。ザル菊などの観光資源を増やしたり、子ども達が安心して遊ぶことのできる公園や施設を充実させる等。お酒、馬刺し、冷やしラーメン等の飲食物を宣伝できる場を設け、その機会に坂下町の子育て支援や高齢者、障がい者支援についてチラシやブースを設けるなどして情報提供できれば、坂下町に興味をもっていただけるのではないかと思います。
9	温泉施設を復活させて周囲には人々を呼び込むための花畑をつくる
10	高齢者が外出(買い物、通院等)しやすいように、ワンコインタクシーやオンデマンド交通などの整備を希望します。又、有償ボランティアによる移動支援にも取組みをお願いします。
11	県内幸福度No.1になっている坂下町なので日本国内においても、もったきになる町作りを積極的にこなしてほしい。たとえば坂下町にいたりたらコミュニティーバスにのれるようにバスターミナルがあればいいと思う。 少子高齢化、人口流出など問題ありますが子どもたちが坂下のじいちゃんばあちゃんの家遊びにいけるように、行政の方々は知恵をだしてほしい。
12	町役場や病院、銀行、商業施設を周回するバスを活用しては
13	運転免許返納者の移動の確保。高齢者へのバス運賃の補助などあるのでしょうか？只見線の増発、バスとの連携、乗り継ぎ時の割引運賃の設定など。 新しい役場庁舎に一般利用のできるカフェや図書館の併設。屋上展望広場など町民が集まれる場所の設置を希望します。
14	役所に行かなくてもオンライン等で各種証明書や住民票等がとれるようになるとういと思います。 人口が減少するのは仕方ないので、減少しても町の収入で町民が生き生きと生活できるような施設、コンパクトシティなどに取組んでほしい。 人口減少している状況で将来的にも7つのコミセンの必要性(必要があるのか？統合とか)
15	ほかの市町村では、諸外国と姉妹都市を締結し、2、3年の中学生を対象に相互ホームステイ交流を行っています。未来ある子供達へ語学力向上と異文化への理解促進を目的として、相互ホームステイを提案します。また、海外からのホームステイ先として、坂下町のホストファミリーも募集して、海外の2.3年の中学生を対象に、会津坂下町の文化や食に触れてもらうことで、会津坂下町の認知度向上を目指すことで、町の活性化に繋がることと思います。(日本酒(←使用したおかし等)、みそ、冷やしラーメン、温泉、歴史、寺など、)秋祭り
16	子育てしやすい環境
17	高齢化は仕方ないが出生数が少な過ぎる。町の人口と世帯数の減少を
18	これからは若手・子供達の時代になってくるので子育て支援をもっと充実させてほしい。子供達がのびのび育っていける学校等の教育や遊べる施設などがあれば、もっと賑わいがでてるかと思います。子育て世帯にもっと力を入れてほしいです。
19	病児・病後児保育を希望します。 放課後児童クラブを小学6年生まで希望 トレーニングジムの誘致 温泉施設の利活用(再度、温泉施設として)

20	教育に力を入れてほしい。(学力向上)
21	地区のスクールバスで中学生が立って通学していると聞きました。税金があり予算があるはずなのにどうしてこのようなかわいそうな状態なのでしょう。庁舎のことばかり考えないでもっと町民を未来ある子ども達を大切にしていただけないのでしょうか。お願いします。
22	喜多方市のめぐらさのような屋内施設があれば子育て支援につながるのではないかと思います。
23	子育て世代にやさしい町だと良い 子どもが遊べる場所(室内・外)がほしい アパートが高い、ファミレスが欲しい(ファストフード店舗含む)
24	子供が産まれたらオムツやミルク代を月5,000円くらい負担してほしい。18才まで子供にかかるお金がなくなるといい(衣類や食は別) 室内で子供が遊べる場所がほしい。 若い世代が移住しやすいように1件家の住宅を建ててほしい。(南小の学区内だけでなく東小の学区内の住宅をきれいにしてほしい) 坂下町はおいしい物が多いので、坂下町で作っている物だけを売る店があったら良いと思う(道の駅だけでなく) (例:米・ミソ・しょう油、野菜、果物、お菓子、乳製品、酒類等) 新しく建設予定の役場は場所はどこでも良いが、複合施設にしてほしい。 非課税世帯はお金をおもらったりすることがあるが、課税世帯でもギリギリの人たちは大変なので考えてほしい。(非課税世帯は税金払ってないし、生活保護の人はほとんどがかからないので、、、、考えて下さい)
25	坂下町民のために働いて下さりありがとうございます。 坂下町は会津のどこに通勤するにも便利(買い物も)な町だと思います。 若い世代が坂下に住みたい、結婚後も坂下で家を建てたい、子どもを育てたいと思えるような町政を強くお願いしたいです。 出産して働きたい時すぐ保育所に入所させたいと願えば小規模ではなく保育所に入所できるような保護者の希望に添った町であってほしいです。 未来ある子ども達のために税金を使ってほしい(施設も含めて)町民プールが温水プールになると嬉しいです。坂下町は子育てしやすい町と自慢したいです。最後に町が発展しますよう心から願っています。
26	会津坂下町にはスーパー、ホームセンター、薬局等がありますが、休日に若者や子供たちが親子で遊べる環境がないと思います。休日は他市町村に出かけて買い物、食事等をする方が多いのではないのでしょうか？もっと会津坂下町内で、買い物、食事、娯楽等楽しめる施設があったらいいのに思います。 若者、子どもたちが楽しい町だと感じるような会津坂下町にして頂きたいです。
27	子供達が楽しく遊ぶ場所が少ない(アスレチックなどほしい) 消防団の運営費を見直すべき 町議会議員はそんなに必要なのか？ 議員報酬をもらってるなら、自分が言った事を実現させてほしい。できないなら子育て資金にまわしてほしい。
28	大人でも子供でも低料金あるいは無料で体験できるならいい事がもっとあればいい 図書館の本が少なく古いものばかり 空家の再利用が進めばいい

29	子供の予防接種でインフルエンザも助成してほしいです。
30	近い将来高齢化が進み健康的な生活維持のために体操や健康管理など気軽に参加できる仕組みがあれば良いと思う。
31	子育て世代の支援も大切な事ですが、老人本人や老人のいる家族も支援を増やしてほしいです。オムツ代も大変な出費です。 喜多方市では、老人の為の無料の予約バスがあります。予約すれば家まで迎えに来てくれ、目的地(市内の)まで送ってくれます。坂下町もマネしてみたらどうでしょうか。私の母は喜多方市在住ですので、よく利用して病院などに行ってます。おかげで私も仕事を休む事もなくなり大変助かっています。 役場の建替の件もありますが、住民の為の役場ですので、住民が行きやすい利用しやすい役場を考えてください。 できれば駐車場は広い方が良いです。
32	高校生への交通費の助成金を考えていただきたい。バス利用運賃で高いので免許返納率が悪いと思うので巡回バス等安全で子供たちやお年寄りに優しい町づくりをしてほしい(事故の危険があるが足がないので返納率が悪い)
33	町内の環境は整備されていますが、町外の各村に作った公園やふれあいの森の整備などは年に一、二回行ってもここ何年?も活用されていなく、整備もされていない様です。皆さんお忙しいとは思いますが、活動よろしくお願いします。
34	地域に若い人、子どもが非常に少なく今後が不安である。(これは日本全体でおきていることではあるが)互いに助け合って生活できる坂下町になるように集まり易い役場の新設をのぞみます。町中だと車での生活をしている者には大変不便です。町に出るのに20分～30分は必要です。早期の結論を出してほしい。
35	子どもたちが空き家に入ったり危険なのでしっかりした管理をお願いします。
36	地域ごとに防犯も考え、街灯の設置をご検討願います。
37	坂下の良さを知ってもらって移住者が増えるといいと思います。
38	高齢者に特化した移住推進(うりは医療・仲間づくり、町内の移動手段など) 農業の活性化(農業塾などで塾生を募集) 只見線に自転車ごと乗せて移動でき、サイクリングを楽しめる 只見線往復、坂下で飲もうツアー ツーリング客用、素泊まり(町)施設設置 しおりの湯、スキー場を利用したファミリー向けイベントパーク(夏季限定) 自然の家と連携する 商店街の景観の統一(むずかしい)
39	新庁舎についてですが、現庁舎付近が望ましいと思っています。厚生病院跡地だと費用面でかなりの差があるのでないでしょうか。少しでも安価に建ててほしいです。未来の子供達への負担をさせないようにしましょう。
40	お願いします。庁舎の建てかえに反対です。お金がかかりすぎます。今ある建物、人数が少なくなる小学校を使って庁舎に改装して少しでも安く、そしてコンパクトな町作りをめざして欲しいと思います。いろいろな考え方の中まとめるのは大変かと思いますが高い志・先を読む力を使ってがんばってほしいと思います。
41	通学路・町道など街路灯の定期点検をお願いします。(玉切れ等あり) 上下水道工事進行中と思いますが、終了した所の舗装(アスファルト)復旧がひどいです。ガタガタです。

42	若い年齢の人が住む又は往来出来るようにしてほしい。例えば働く場所や企業、若い年齢の人が興味をもちそうな会津にないような店舗の誘致等。若い年齢の意見を取り入れる。 観光資源の活用をして関係人口を増やす。とにかく町に人が流入するようにする。
43	雪害及び雪対策に力を入れてほしい。融雪対策の為の地下水の配水や上水道の融雪使用時の料金割引を検討してほしい。
44	会津若松市や喜多方市のようにゴミを持ち込むと無料で処理してくれるような施設があればいいと思う。燃やすエネルギーで温水プールなど健康維持できるような施設もあればいいと思う。外を歩くにも熊や猪が怖くてウォーキングもできない。 今の時代なんでもインターネットで町の情報も入手しにくい。
45	町のリサイクルセンターのようなものがあるといいと思います。 いつでも資源物や不用品が持ち込めて必要な人がいたら持って帰れるような。
46	ゴミ分別の方法が分かりづらいので、ホームページ等で分別の仕方を細かく分かりやすく説明してほしい。他の地区(仙台市、郡山市)を参考にしてほしい。 企業誘致、商業施設を行い、町の活性化、若者が移入しやすいようにする。
47	人間性も考慮した移住施策。若者が転職時などに戻ってくることも選択のひとつになりえるような地域づくり
48	一日も早く、新庁舎が完成し職員が働きがいのある環境で、町民のためにこれからも業務に専念できるように望んでいる。 町中には町民が集まり楽しむことのできる施設を整備し、子育てや障がい者の働ける場、坂下コミセンとしての活用など、坂下町の未来に向けた楽しめる機能を期待している。
49	会津坂下町に住みたくなる様な、環境や支援を充実させる。
50	町内に子どもが安心して遊べる公園の整備 先日、何年かぶりに中央公園に行って驚きました。昔は子供が安心して遊べる場所でしたが、孫を連れて行っても不衛生で遊ぶどころではありませんでした。 音楽イベントやコンサートが開けるようなホールがあったらいいと思います。 他町村に比べて何にもない気がします。若い人や子供が遊べる場所がありません。大人も子供も楽しめるような公園、アウトドア施設があったらいいとおもいます。
51	人口減に対策を早急にしたいほうがいいと思う。こままではさびれてしまう
52	運転のできない老人、女性、子供のためなどもう少し周遊バスなど安く利用できれば、安心できると思うのですが、一番は交通手段でしょうか。 町中の活気も気になります
53	他の都市に比べて補助が少ないのが不満です。 子育て、高齢者。住宅諸々、、、 人口を増やして財政を豊かにしたいのなら、色々な補助をしてみてもいいでしょうか
54	人口減少にはいろいろな原因はあると思いますが農業を活性化(後継者の問題はあっても)をしないといけないと思う。(食が第一) 母子、父子家庭に手厚い支援を！もっとお願いします。
55	会津坂下町の自然環境と景観が大好きです。どうぞ、いろいろとかかわりがあると思いますが、大切に守って欲しいと切にお願いします。
56	若人が働きやすい環境で企業が増れば移住する方々も集ると思う。

57	人口減少対策として、企業の誘致活動を活発に行い人口減少をくいとめる策を実施してほしい。
58	地場産業の振興 将来に希望が持てるように、今あまり無駄遣いをしないで欲しい。全てこれからの若い人達の借金になってしまうと思うと、気の毒になる。人口が減っていくのがわかっているから、出来る事があると思う周りの町村に流されず、一つ一つ足元を固めていって欲しい。公共施設の樹木が次々と伐採されていてとても残念。田舎には緑あふれるからこそ魅力があるのだと思う。都会の人が憧れる田舎の町、暮らしが未来の希望になるかと思う
59	坂下町内がとにかく人通りが少なくてさびしく思います。ニュースなどでもわが町ばかりではない様ですがもっと活気がとり戻せたら良いかなと思います。
60	若い人達の安住の為には企業誘致と住宅団地の造成が必要だと思います。なによりも町人口を増やすこと、観光にも年間を通してお客さんが町に呼びよせる物、あるいは今ある物をさらにアップし県内外に発信する。
61	大企業の工場を誘致して、地域住民の雇用を促進する。
62	若者が一度町外に出ても”戻ってきたい”と思う町にしてほしい。商店街を有効活用、若者も雇用 イベント、祭りにさらに町外(観光客)から来る人の参加をピーアールが必要、もっとメディア活用
63	会津坂下町の温泉施設であったしおりの湯、スキー場の跡地の活用→スキー場のロッジ、バーベキューの場所、見明の林道の沢(川)、スキー場のゲレンデはひまわりやコスモスなど季節に合わせて寄せ植えして観光施設など行い、キャンプ施設など造設したら、若い世代の方が増えて、坂下町の人口が増えるのではないかと思います。 →利用料として坂下町に入り活性化に繋がると思ってます。
64	人が集まりやすい行事があまりにも少ない 子供、年寄りの喜ぶ行事が少ない。 町役場職員が親切でない。 役場そのものが活気もやる気もない。
65	見明山(スキー場)の利活用
66	会津坂下町にあったらいいなと思う施設を書かせて下さい。 会津若松市にある美工堂のようなノマドワーク、カフェしせつ(広い)があったらとてもうれしいです。ブログをタブレットで更新したりしてみたいです。 ばんげ道のえきのしばふのところに小さな公園をつくってほしいなというのもあります。 ばんげは、かいものがべんりで充実していて、すごくうれしい町です。いつもかんしゃして利用しています。ありがとうございました。
67	35の町産品や観光資源の魅力ですが、町産品の「馬刺し」の地方放送が親戚に喜ばれています。面倒なくお店の方にお問い合わせすれば時間までに届くのでありがたいです！
68	①みそ・しょう油、お酒、馬さし、野菜、米など魅力的なものがいろいろあるが生かしきれていないように感じる。只見線にもたくさんの観光客が乗っているので、駅や列車内(限定で)で試飲や試食、おみやげセットなどがあればよいのではないかな。常時では大変なので試験的にやってみて様子をみてはどうでしょうか。 ②町役場の移転には反対である。町中ににぎわいがなくなり、どんどんさびれてしまう。検討を！！

69	坂下町はすべての施設が中規模、なかなか外から人を呼び込めない実情ではないかと思う。長年の希望、文化センターがほしい。人は必ず来る。 見明のスキー場跡地を整備し、アウトドア、キャンプが盛んな今テントを張り星空をながめられる最高の場所ではないでしょうか。これはどこにも負けない自慢の出来る思い切った政策を望みます。 場違いではありますが、観光物産協会にお願い コロナ以来祭りが縮小のまま職員の方は大変でしょうが元に戻らないものでしょうか、なかなか町、自治会の都合もありますね。でも活気ある坂下町を見て来世へ行きたいものです。
70	町中に娯楽施設、飲食店が多くあれば人が多く集まると思う。昔のように賑やかになるといいと思います。国道から町内に人が車が流れるような目玉をつくる必要があるのではないのでしょうか。
71	町内にはいくつかお寺があると思うのですが(町内の人間ではないのでよくわかりませんが、うら通りを通るといくつか目にしていたので)お寺の境内にふらっと立ち寄り、建物やお庭など見学できるといいです。坂下町内の神社・お寺めぐり(大小含め穴場的なことかないですか?)でまち歩きをしてもらおう。ちょっと歩いてホッと一息つける場所、空き家の空き店舗利用して作るというのでは。起業したい方をお願いするとか。まちなかのいろんなお店、お寺などを紹介した「まち歩きMAP」坂下にあつたんでしょうか?なかったら作ってほしいです。
72	イベントを開いて県内外から観光客をよぶ。坂下町には、日本酒、米、そば、馬肉と美味しいものがあるので、それぞれ協力しあって開催してはどうですか。曙酒造の「一番しぼりを楽しむ会」には、たくさんの方が坂下町に訪れます。が、みなさん終わるとそのまま若松方面に帰ってしまいます(坂下町を観光するわけでもなく) 坂本冬美さんに観光大使になってもらおう。師匠の猪俣公章氏のお墓があり、かかわりがある坂下町をPRしてもらいたい。 町会議員に女性がどんどん立候補してもらいたい。 女性の視点から人口減少問題を考えてほしい。女性活躍を期待したいです。 新庁舎に車イスで利用できるレストランができたらいいな。
73	坂下町の特産、おみやげ品がならんだ商店街。シャッターのしまった店が多すぎて、町中を散歩してもおもしろくない。 役場コンパクトに。でも美里のじげんプラザのように、ちゃんとした図書館やホールがあるとよい。カフェなどもよいかも。 大人むけのサークル・スポーツクラブなどやっているか?そんな情報はあまり見たことない。 働く人の募集もあまりよくわからない。(臨時、ボランティアサポート等) 情報発信のしかたを工夫してほしい。いろいろな年代の人がいるので、いろいろな方法で。
74	人口減少によるコミュニティセンターの運営は難しいと思います。各地区で運動会、ソフトボール等、年数回の行事運営を無理矢理行うのではなく、コミュニティセンターを統合し、町でフィットネス施設を運営し、老人・若者の健康管理に力を入れてほしい。年数回の運動より毎日雪の日も雨の日も安心してウォーキングや筋トレを続けることが、健康に役立つことを知るべきです。
75	何をしても、いちぶの人達だけでなくみんなが私もやりたいやらなきゃそんな行事があつたらいいなと思います。(たまにしか役場に行かないのですが、何年か前より本当に対応が良くなり話しやすくなりました。)
76	「ずっとばんげまち」のような「あいの里 あいづばんげまち」親しまれるキャッチコピーを作ってみてはいかがでしょう?

77	会津坂下町の将来に希望が持てるようにがんばりたいと僕も思います。
78	私は東京在住の大学2年生です。 会津坂下町をはなれて都会と坂下町の両方の良い所、悪い所がわかりました。やはり私たち世代は、東京はとても楽しく魅力的な所です。おしゃれなカフェや美容院、ネイルサロン、エンターテインメントも楽しめるし、各地方から外国からも同世代の人が集まりとても刺激的です。 逆に坂下町は帰省するとあまり人がいなく、日々の忙しさから開放され落ちつきます。これからの進路は、わかりませんが、いつまでものどかな坂下町であってほしいです。
79	今後の会津坂下町をかたるなら、今いる町役場職員を全員クビにし、新しい職員を入れる。職員の数が今は多すぎ。仕事ができない、ただいばっている職員が多い。あなた達は税金で生活しているのよ！！わかってる？昼、役場でご飯たべにきてるのじゃないのよ。しっかり仕事しなさい。税金ドロボー！！って言われるよ。駐車場が遠いとかわがまま言うな！！
80	バンビィの出番を他町村くらい増やしてほしい。
81	伝統、歴史的な遺産(古墳など)を活用した地域づくり。 若い人が集まれるおしゃれな建物の飲食店があると良いと思います。又は、チェーン店のファミリーレストラン(ガスト、ココス等)があると、町の魅力が上がると思います。 会津若松や喜多方市への高校生用のスクールバスがあるのはとても素晴らしいと思います。幼児から中学校への教育に力を入れる町だと若い子育て中の家族が引っ越してくるのではないのでしょうか。教育や文化レベルが高い町はとても良いと思います。アピールできます。 財政を考えると、旧金上小学校や活用がうまくいっていない公的な不動産を民間に貸す、あるいは売る等して、長期的な計画をたてて活用して欲しいです。中途半端な活用ではない大胆な変革・実現をお願いします。
82	ファーストフード(ピザなど)の店舗が欲しいです。 ドッグランの設置
83	映画館、回転寿司を作ってほしい これから子育てをする際に何に頼るかがいまいち分からない。
84	このままでは会津坂下町はなくなってしまう気がします。頑張ってください。
85	坂下町旧町中が死んでいるので、将来の事には口出しはしたくない。このままの状態に変化の無い町で終わるでしょう。以上
86	復興支援のため他県他市町村で受け入れ反対が予想される施設等を積極的に受け入れる。そのために必要な研究施設や人員を求める。国、県と連携し多額の補助金を獲得し、町の財政を豊かにし、小規模農地の集約化や子育て支援の資金をつくる。他市町村と横並びのことをしていてもいずれじり貧になる。思いきった活性化対策を打ち出して勝負をかける。
87	一世帯につき1人の方が、様々な意見が聞けるのではないのでしょうか？前回のアンケートも母と私の2人でした。

88	会津西部エリアの中核としてのビジョンを掲げ、その具体策を明確に打ち出す。 町の基幹産業は何なのか、全てにおいて及第点を目指すのか唯一無二も近い産業を育成するのか？ 四季折々の祭りが多く活気があるのは他の市町村に勝ると思うが観光産業に生かし切れてないのでは？ 健康促進を図る上で体力強化は重要だが町民参加型の企画が少ない (人口減少が進んでも、町民運動会(町内対抗戦)等時代に合った企画から離れている) ※コロナ化以降、消極策が定着している様に思われる
89	旧厚生病院跡地に役場がくると鉄炮町の土地の価値が上がり、固定資産税が高くなると聞きました。これ以上、上がったなら将来への夢も何もありません。子育て世代がたくさんいる中で、子育て世代に優しくなく坂下町が、これ以上、子育て世代を苦しめないでほしいと思います。
90	東京六大学の野球が観たい。 それかプロ野球ファームでも、いいネ。 鶴沼球場は素晴らしい球場。 坂下町の誇りです。 私は会津坂下町が大好き。
91	いいなあ 役場職員は、、 時間すぎれば給料もらえんだから、、行っても適当に流されてわけわかんないで帰ってくる事多々。坂下町金欠なのに危機感0 田畑整理して他市町村(柳津、三島、金山)移住考えてる 職員も親切だし1回行ってみならったら、、税金ドロボー
92	議員の削減(10名も要れば充分) 企業の誘致(しっかりとした雇用) 子供の無償化0～12才迄8:00～21:00
93	大沼高校と統合した坂下高校校舎の有効活用をお願いします。町民体育館等、体育施設にも利用可能だと思います。
94	前回この項で提言しましたがこれからも全く変わらないでしょう。町出身の偉大なる偉人を疎かにする町は衰退していく。
95	田植え作業等真っ盛りの時期の調査、もう少し時期を考えて調査書類を送付して欲しい。
96	農繁期の忙しいときなのでよく考えられなかった。
97	坂下町はいじめ問題がある町なので地区のハラスメント防止活動してほしい。いろんな問題があるから坂下町をすすめない。 地区の行事、イベントが多すぎる、Z世代には住みにくい 役場書類に押印があるのは古い 無記名アンケートは大賛成です 役場職員の付度をやめてほしい(アメシロ機械貸出にならんでも役場職員が一番になってるなど、多々感じる) 役場の営業時間を長くして土日もやってほしい アンケートは美里町の様に全部開示すること。 町中は、作業が少ないが部落は作業が多すぎる。 多面的は役場で広域化すればいい 地区の負担が多すぎる 工事の見積もりも役場でやるべき、工事内容の見積もりが正しいか、一般人が分かるわけがない。

98	色々と書きたいことがあります、行政の対応の仕方について疑問を持っている部分も一部持っている、その辺も書きましたので、その他の意見としてご理解して下さい。 どこの市町村でも行っている事はやめる。坂下独自の内容を考える。 子育て支援として、例えば幼稚園や保育所の閉所時間を延長する。PM7時・8時・9時とかすれば、仕事で遅くなる方は助かると思います。坂下の幼稚園・保育所はすごいなと云われ、転入者が増えるかもしれませんね。？ 固定資産税を安くする、特に住宅地は。特例として移住者は5年とか10年は無税にするとか。 ※喜んで坂下町に住宅を建てると思いますよ。？ ゴミ袋は特に坂下町は高いので、安くする努力をする。広域で処理を行っていることを考えると、広域の市町村で統一したゴミ袋を作成することでコストが安くなると思います。 ※町民は喜ぶと思いますよ。？ 断らない課を作る。 高齢者が多くなることから、町役場が率先いろいろな町民の相談に対し、断らない課を作る。 ※県内には無いのではないかと思いますので、やってみてはどうですか。？ ふるさと納税額が坂下町には多額の寄付が集まっている。しかし、町民に対し役場職員でさえ何に使っているか説明ができないと思うので、例えばふるさと納税で橋を作りましたとか。除雪車を購入しましたとか。小学校の給食を無料にしましたとかPRすることで、転入者は増えると思うし、ふるさと納税額が町民の為に使っていると関心が高まるし、新庁舎や公債費の返済には使用しないでほしい。？ 行政がやると決めたことは、直ぐにやる。 ※桜木町の道路の問題。何十年もかかるのでは？、直ぐに対応する。 ※県から購入した南幹線沿い近くの土地の利活用。目的があって購入したのであれば、直ぐに目的に向けて対応する。 ※旧坂高跡地の利活用、目的があって坂下町が譲り受けたのであれば(？)目的に向けて直ぐに対応する。 人口減少、若者が減少、子供達も減少、多いのは高齢者。しかし、行政が各地区(自治会・区)にお願いする内容は同じ。今年が〇〇委員の改選なので地区から〇名推薦お願いしますとか、地区の役員の方は色々ご苦労をしていると思うので、色々な組織等で〇〇委員の推薦とかを自治会・区に依頼するときは、上記の事を考えて組織のスリム化を図り組織の見直しをする。区長や自治会長をやる人がいなくなるので、役場の色々な組織等を見直して下さい。自治会や区が全国的には解散している地域もあるので、地区に負担が無いように行政が対応できるものはやる。考えて下さい。 役場職員は下を向いて歩く。 役場職員が通勤や普段通っている道路で陥没しているところや修繕が必要な道路があるにもかかわらず対応しない。それは、役場職員の日頃の心構えの教育が必要だと思います。自治会や区から要望が上がる前に対応してもよいのではないのでしょうか。 新庁舎だよりも職員が庁舎問題でDX等を考えていると載っていたので、どのように行ったのか、結果はどうなったのか。広報誌に結果をのせていただきたいと思います。そして自分も考えてみたいと思います。 例えば、出勤簿に出勤した時に印鑑を押さないで、パソコンを起動したときに出勤、帰るときにパソコンを閉じたときに退社、そして自動で給与計算できるようにする。会社関係では実施している企業もあるので、是非早く行ってくださいとか。なるべく紙を使用しないで事務の簡素化するとか、現在どのようにしてるか知りたいです。※すでに実施していたら御免なさい。 庁舎問題で、お金を掛けなくて建設するのが一番と町会議員の方々は云っていますが、行政では今回の新庁舎の設置場所等で二転三転している会津坂下町では莫大な資金を導入する考えで進めているので、例えば夢やアイデアを書いても、どのように実施するのか見当がつかないので、町民が住みやすいのは、税金(町民税・固定資産税・国民健康保険税等)が安くて、色んな施設がまとまってある、子供から高齢者まで手厚い支援があるのが一番だと思いますので、例えば若い町役場職員の方がアイデアを出したら、役場の上司や議会は文句を云わないで若い方を見守ってみるのが、一番良いのではないのでしょうか。
----	--

99	会津坂下町は、幸福度が高いと私も感じていますので、これからもよろしく願いいたします。スーパー、ドラッグストア、ホームセンター、100均のお店がたくさんあり、感謝しております。
100	町の財政調整基金も余裕のある状況ではないので、夢を語ったところで夢物語に終わってしまうことから、現実的な話をします。 年々、人口減少が加速化してきており、国勢調査に基づく国立社会保障・人口問題研究所が予測した将来人口推移によると、会津坂下町における2025年の人口予測は15,068人と算出されているが、現状ではそれをはるかに下回る13,615人(2025.4.1現在)まで減少している。予測よりも約1割程度少ない人口実態となっているのが現状である。地域に住む人がいなければ自治体としての運営も困難であり、地域が衰退する一つの大きな要因と考えられることから、移住定住の促進により人口を増加させていく必要がある。また、一方で人口流出を防ぐ為、企業誘致による雇用創出の機会を増やすなど、しっかりとした生活基盤を築きながら会津坂下町に定住できるような施策も必要になってくると思われる。全国的に少子高齢化が深刻な社会問題となっている中で、特に地方にとってはその課題が如実に表れていることから、人口増加に転じるのが難しいとしても、減少幅を緩やかに抑えることは必要であると考えます。